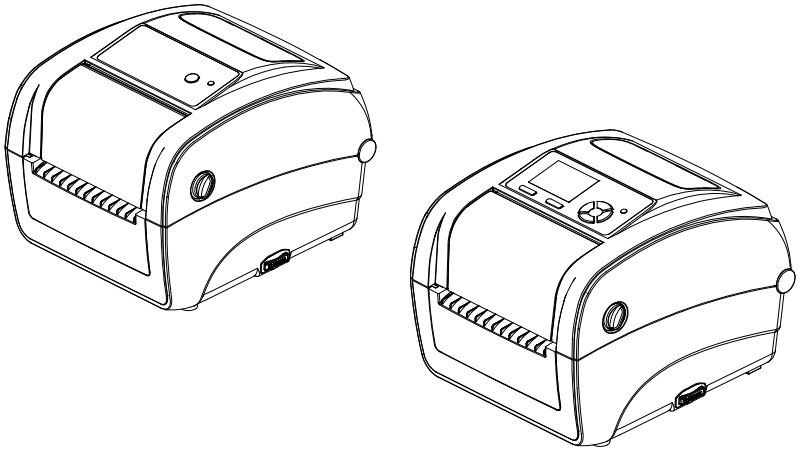
TC200/TC210/TC300/TC310 シリーズ

熱転写式/感熱式バーコードプリンタ

取扱
説明書



著作権情報

©2015 TSC Auto ID Technology Co., Ltd.

本説明書、また本説明書内に記載されるプリンタ搭載ソフトウェアおよびファームウェアの著作権は TSC Auto ID Technology Co., Ltd の所有です。無断転載および複製を禁じます。

CG Triumvirate は Agfa Corporation の商標です。CG Triumvirate Bold Condensed フォントは Monotype Corporation による特許所有です。Windows は Microsoft Corporation の登録商標です。

その他の商標は各社の所有です。

本書における情報は事前の通知なしに変更される場合があり、TSC Auto ID Technology Co.側のいかなる義務も示すものではありません。本書のいかなる部分も、TSC Auto ID Technology Co.の書面による事前の許可なく、購入者の個人的使用以外の目的で複製または転送することは、形態、手段のいかんを問わず、固く禁止します。

事業コンプライアンスおよび認可

CE	**EN 55022、クラス B** **EN 55024** **EN 60950-1**
FC	**FCC パート 15B、クラス B**
	AS/NZS CISPR 22、クラス B
c UL us LISTED I.T.E. E178707	**UL 60950-1（第 2 版）** **CSA C22.2 No. 60950-1-07（第 2 版）**
TÜV SÜD Production monitored Safety tested	**EN 60950-1**
CCC S&E	**GB 4943.1** **GB 9254** **GB 17625.1**

Wichtige Sicherheits-Hinweise

1. Bitte lesen Sie diese Hinweis sorgfältig durch.
2. Heben Sie diese Anleitung fűr den späteren Gebrauch auf.
3. Vor jedem Reinigen ist das Gerät vom Stromentz zu trennen.Verwenden Sie keine Flüssig-oder Aerosolreiniger.Am besten eignet sich ein angefeuchtetes Tuch zur Reinigung.
4. Die Netzanschluß-Steckdose soll nahe dem Gerät angebracht und leicht zugänglich sein.
5. Das Gerät ist vor Feuchtigkeit zu schűtzen.
6. Bei der Aufstellung des Gerätes ist auf sicheren Stand zu achten.Ein Kippen oder Fallen könnte Beschädigungen hervorrufen.
7. Beachten Sie beim Anschluß ans Stromnetz die Anschlußwerte.
8. Dieses Gerät kann bis zu einer Außentemperatur von maximal 40℃ betrieben werden.

注意
1. カッターモジュールに含まれる危険な可動部分。指や身体部分を近づけないこと。 2. メインボードには、リチウム電池 CR2032 を取り付けたリアルタイムクロック機能が含まれています。電池を不適切なタイプと交換すると爆発の危険があります。 3. 使用済み電池の廃棄は製造元の指示に従ってください。

注意

誤ったタイプのバッテリーに交換すると爆発の危険があります。

指示に従って使用済みバッテリーを処分してください。

"VORSICHT"
Explosionsgefahr bei unsachgemäßen Austaush der Batterie.Ersatz nur durch denselben oder einem vom Hersteller empfohlenem ähnlichen Typ.Entsorgung gebrauchter Batterien nach Angabren des Herstellers.

WARNUNG!

GEFÄHRLICHE BEWEGLICHE TEILE – FINGER UND ANDERE KÖRPERTEILE FERNHALTEN!

B 급기기

(가정용 정보통신기기)

이 기기는 가정용으로 전자파 적합등록을 한 기기로서
주거지역에서는 물론 모든 지역에서 사용할 수 있습니다.

FCC 声明:

本装置は FCC 規定第 15 章によるクラス B デジタル装置の規制に準拠していることが試験により確認されています。これらの規制は、住宅に設置した状態で、有害な電波障害から適切に保護することを目的としています。本装置は、高周波エネルギーを発生、使用し、放射しうるため、指示通りに設置し使用しない場合は、無線通信に有害な電波障害を引き起こすことがあります。ただし、特定の設置条件で電波障害が発生しないと保証するものではありません。本装置がラジオやテレビに有害な電波障害を引き起こしている場合、これは本装置の電源をオン/オフにすることで検証できますが、次の方法を一つ以上試みて、電波障害を解消することをお勧めします。

- 受信アンテナの方向を変える。

- 本装置と受信機を離す。

- 本装置を受信機とは別のコンセントに接続する。

- 販売店または熟練のラジオ/TV 技術者に問い合わせる。

本装置は FCC 規定第 15 章に準拠しています。操作は次の 2 つの条件を前提としています。(1)本装置は有害な電波障害を引き起こす可能性があること。(2)本装置は、誤動作を引き起こしうる干渉を含め、いかなる受信障害も許容しなければならないこと。

本クラス B デジタル装置は、カナダ ICES-003 に準拠しています
Cet appareil numérique de la classe B est conforme à la norme NMB-003 du Canada.

注記:

*** 連続印刷により、プリンタモーターが過熱します。モーターが冷却されるまで、プリンタは自動的に約 10 ～ 15 分間停止します。プリンタが一時停止中は電源を切らないようにしてください。プリンタバッファに転送されたデータが失われます。**

*** このプリンタのドットラインあたりの最大印刷比は 15 % です。完全なウェブ黒線を印刷するために、黒線の最大高は 40 ドット、すなわち 203DPI 解像度プリンタで 5 mm、300DPI 解像度プリンタで 3.3mm に制限されます。そうしないと、電源装置が損傷する恐れがあります。**

目次

1. はじめに 1
1.1 製品紹介 1
1.2 製品機能 2
1.2.1 プリンタ標準機能 2
1.2.2 プリンタオプション機能 4
1.3 全般仕様 5
1.4 印刷仕様 5
1.5 リボン仕様 5
1.6 メディア仕様 5
2. 操作概要 7
2.1 開梱検査 7
2.2 プリンタ概要 8
2.2.1 正面図 8
2.2.2 内部図 10
2.2.3 背面図 11
2.3 オペレータコントロール 12
2.3.1 LED 表示 12
2.3.2 ボタン機能 12
3. 設定 13
3.1 プリンタの設定 13
3.2 上部カバーを開く/閉じる 14
3.3 リボンの装着 15
3.4 メディアの取り付け 18
3.4.1 メディアの取り付け 18
3.4.2 外部ラベルロールマウントの取り付け（オプション） 21
3.4.3 ピールオフモード（オプション）でのメディアの取り付け（オプション） 23
3.4.4 カッターモードでのメディアの取り付け（オプション） 25
4. 診断ツール 26
4.1 診断ツールの開始 26
4.2 プリンタ機能 26
4.3 診断ツールによるイーサネットの設定 27
4.3.1 USB インターフェイスを使用してイーサネットインターフェイスを設定する 28
4.3.2 RS-232 インターフェイスを使用してイーサネットインターフェイスを設定する 29

4.3.3 イーサネットインターフェイスを使ってイーサネットインターフェイスを設定する....30
5. パワーオン・ユーティリティ 32
5.1 リボンおよびギャップ/ブラックマークセンサー校正..... 33
5.2 ギャップ/ブラックマーク校正、セルフテスト、ダンプモード..... 34
5.3 プリンタの初期化..... 38
5.4 ブラックマーク センサーをメディアセンサーとして設定し、ブラックマークセンサーを校正する 39
5.5 ギャップセンサーをメディアセンサーとして設定し、ギャップセンサーを校正する 40
5.6 AUTO.BAS をスキップする 41
6. LCD メニュー機能..... 42
6.1 メニューに入る 42
6.2 メインメニュー概要..... 42
6.3 TSPL2 43
6.4 ZPL2 46
6.5 センサー 49
6.6 Interface（インターフェイス）..... 50
6.6.1 シリアル通信 50
6.6.2 イーサネット 51
6.6.3 Bluetooth..... 52
6.6.4 Wi-Fi..... 52
6.7 ファイルマネージャー..... 53
6.8 診断 54
6.8.1 印刷設定..... 54
6.8.2 ダンプモード 56
6.8.3 プリンタヘッド 57
6.8.4 Display（表示）..... 57
6.9 Advanced（詳細）..... 58
6.10 Service（サービス）..... 59
7. トラブルシューティング..... 60
8. メンテナンス 63
改訂履歴..... 65

1. はじめに

1.4
1.5 1.1 製品紹介

TSC バーコードプリンタをご購入いただき、誠にありがとうございます。

TC200/210 シリーズの熱転写デスクトップバーコードプリンタ、ラベルプリンタは、さらに小さくなっているにも関わらず、TSC™ に期待される高い性能を維持しています。耐久性、信頼性が高く、そして高速な TC200/210 は 4 インチ ワイド ラベル、タグ、領収書を最大 6 ips で作成、市場の他のデスクトップ熱転写バーコードプリンタにはない価格-性能コンビを実現しています。

すべての TSC プリンタと同様に TC200/210 シリーズは TSPL-EZ™ プリンタ制御言語を搭載しており、他の TSC プリンタ言語と完全互換です。また、TPLE（Translation Printer Language Eltron®）および TPLZ（Translation Printer Language Zebra®）をサポートしています。言語は、自動的にプリンタに送信される通りに各ラベルのフォーマットを解読・翻訳します。また、TSPL-EZ™ は、通常は高額のプリンタにのみ適用されている Monotype® フォントエンジンを使用したスケーラブル True Type フォントも内蔵しています。

アプリケーション:

- 販売時点情報
- 製品マーキング
- 領収書/クーポン印刷
- コンプライアンスラベリング
- 資産追跡
- ドキュメント管理
- 配送/受領
- 在庫管理
- 試料ラベリング
- 患者追跡

1.6 1.2 製品機能

1.2.1 プリンタ標準機能

プリンタには次の標準機能が搭載されています。

製品標準機能	TC200/TC300 モデル	TC210/TC310 モデル
熱転写式または感熱式	○	○
1 つの操作ボタンおよび 1 つの 3 色 LED	○	-
6 つの操作ボタンおよび 1 つの 3 色 LED	-	○
320 x 240 TFT LCD（操作メニューの UI）	-	○
32 ビット RISC ハイパフォーマンスプロセッサ（Atmel 9260/210 MHz）	○	-
32 ビット RISC ハイパフォーマンスプロセッサ（Atmel 9G25/400 MHz）	-	○
スパイラルスプリング付中央位置合わせホルダ	○	○
ギャップ透過式センサー（固定、中心が中央から右に 4 mmオフセット）	○	○
ブラックマーク反射式センサー（位置調整可能）	○	○
リボンエンコーダセンサー	○	○
ヘッドオープンセンサー	○	○
メディア/リボンセンサーの自動選択	○	○
4 MB フラッシュメモリ	○	-
128 MB フラッシュメモリ	-	○
8 MB DRAM	○	-
64 MB DDR2 DRAM	-	○
最大4GBまでのメモリ拡張用SDカードリーダ	○	-
最大32 GBまでのメモリ拡張用SDカードリーダ	-	○
RS-232 インターフェイス（最大115,200 bps）	○	○
USB 2.0 インターフェイス（フルスピードモード）	○	-
USB 2.0 インターフェイス（ハイスピードモード）	-	○
内蔵イーサネットプリンタサーバ（10/100Mbps）インターフェイス	○	○
USB ホスト	-	○
パラレル（SPP モード）	○	-
Eltron® および Zebra®言語サポートを含む業界規格エミュレーションはプリンタ開封後の即時使用が可能	○	○
内蔵英数ビットマップフォント 8 種	○	○
フォントおよびバーコードは、4 方向のいずれでも印刷が可能。（0, 90,180, 270 度）	○	○
内蔵 Monotype Imaging®true type フォントエンジン、CG Triumvirate Bold Condensed スケーラブルフォント 1 種付属	○	○
PC からプリンタメモリへのフォントダウンロード可能	○	○
Unicode UTF8 対応	○	○

<table>
<tr>
<td>バーコード、グラフィックス/画像印刷

<table>
<tr><th colspan="2">対応バーコード</th><th>画像サポート</th></tr>
<tr><td>1 次元 バーコード</td><td>2 次元 バーコード</td><td rowspan="2">BITMAP、BMP、PCX（グラフィックス最大 256 色）</td></tr>
<tr><td>Code128 サブセット A.B.C、Code 128 UCC、EAN 128、Interleaved 2 of 5、Code 39、Code 93、EAN-13、EAN-8、CODABAR、POSTNET、UPC-A、UPC-E、EAN および UPC 2（5）DIGITS、MSI、PLESSEY、China Post、ITF14、EAN 14、Code 11、TELPEN、PLANET、Code 49、Deutsche Post Identcode、Deutsche Post Leitcode、LOGMARS</td><td>CODABLOCK F モード、DataMatrix、Maxicode、PDF-417、Aztec、MicroPDF417、QR コード、RSS バーコード（GS1 データバー）</td></tr>
</table>
</td>
<td>○</td>
<td>○</td>
</tr>
<tr>
<td>サポートするコードページ：

・ コードページ 437（英語 - 米国）
・ コードページ 737（ギリシャ語）
・ コードページ 850（ラテン 1）
・ コードページ 852（ラテン 2）
・ コードページ 855（キリル語）
・ コードページ 857（トルコ語）
・ コードページ 860（ポルトガル語）
・ コードページ 861（アイスランド語）
・ コードページ 862（ヘブライ語）
・ コードページ 863（フランス語（カナダ））
・ コードページ 864（アラビア語）
・ コードページ 865（北部フランス語）
・ コードページ 866（ロシア語）
・ コードページ 869（ギリシャ語 2）
・ コードページ 950（繁体字中国語）
・ コードページ 936（簡体字中国語）
・ コードページ 932（日本語）
・ コードページ 949（韓国語）
・ コードページ 1250（ラテン 2）
・ コードページ 1251（キリル語）
・ コードページ 1252（ラテン 1）
・ コードページ 1253（ギリシャ語）
・ コードページ 1254（トルコ語）
・ コードページ 1255（ヘブライ語）</td>
<td>○</td>
<td>○</td>
</tr>
</table>

・ コードページ 1256（アラビア語） ・ コードページ 1257（バルト語派） ・ コードページ 1258（ベトナム語） ・ ISO-8859-1：ラテン 1（西ヨーロッパ） ・ ISO-8859-2：ラテン 2（中央ヨーロッパ） ・ ISO-8859-3：ラテン 3（南ヨーロッパ） ・ ISO-8859-4：ラテン 4（北ヨーロッパ） ・ ISO-8859-5：キリル語 ・ ISO-8859-6：アラビア語 ・ ISO-8859-7：ギリシャ語 ・ ISO-8859-8：ヘブライ語 ・ ISO-8859-9：トルコ語 ・ ISO-8859-10：北部フランス語 ・ ISO-8859-15：ラテン 9 ・ UTF-8		

1.2.2 プリンタオプション機能

プリンタには次のオプション機能が提供されています。

製品オプション機能	ユーザーオプション	販売店オプション	工場出荷オプション
ピールオフキット *用紙長さ: 1” ~ 6”* *注記：* *ピールオフモジュールは、熱/普通紙のみをサポートします。*		○	
標準カッター（フルカットカッターモジュール） *用紙厚み:0.06 ～ 0.19 mm* *用紙長さ:1 インチ～最大長さ* *最大印刷幅:110 mm* *注記：* *ライナーレスカッター以外の場合、すべての標準/高耐久性/ケアラベルカッターはグルー付きメディアを切断しません。*		○	
ディスプレイつきキーボードユニット（KP-200 Plus）	○		
プログラム可能スマートキーボード（KU-007 Plus）	○		
3 インチコアラベルスピンドル付属外部ロールマウント	○		
スリーブアダプタ	○		
外部 Bluetooth モジュール（シリアルインターフェイス）	○		
外部 802.11 b/g/n ワイヤレスモジュール （シリアルインターフェイス）	○		
TC210/TC310 シリーズ用パラレルポート（USB ホストの置換）			○
リアルタイムクロック＆ブザー			○

1.7 1.3 全般仕様

全般仕様	
外形寸法	203 mm（幅）x 191.5 mm（高）x 259.3 mm（奥行）
重量	TC200/TC300:2.2 kg TC210/TC310:2.3 kg
メカニズム	二層プラスチックのクラムシェル
付属電源アダプタ	ユニバーサルスイッチイング電源アダプタ • 入力：AC 100 ～ 240 V、2.5 A、50 ～ 60 Hz • 出力：DC 24 V/3.75 A、90 W
環境条件	動作: 5 ～ 40˚C（41 ～ 104˚F）、25 ～ 85% 結露なし 保管: -40 ～ 60˚C（-40 ～ 140˚F）、10 ～ 90% 結露なし
環境問題	RoHS、WEEE、REACH に準拠

1.8 印刷仕様

印刷仕様	TC200	TC210	TC300	TC310
プリンタヘッド解像度（ドットインチ/ミリメートルあたり）	203ドット/インチ（8ドット/インチ）		300ドット/インチ（12ドット/インチ）	
印刷方式	熱転写式または感熱式			
ドットサイズ（幅x長さ）	0.125 x 0.125 mm（1 mm = 8ドット）		0.084 x 0.084 mm（1 mm = 12ドット）	
印刷速度（[インチ/秒]）	最大 6 IPS		最大 4 IPS	
	最大 3 IPS（ピーラーモードの場合）			
最大印刷幅	108 mm（4.25"）		105.6 mm（4.15"）	
最大印刷長	2,286 mm（90"）	25,400 mm（1000"）	1,016 mm（40"）	11,430 mm（450"）
印刷結果バイアス	垂直:最大1 mm 水平:最大1 mm			

1.9 1.5 リボン仕様

リボン仕様	
リボン外径	最大 40 mm OD
リボン長	110メートル
リボンコア内径	0.5 インチ ID コア
リボン幅	40 mm ～ 110 mm
リボン巻きタイプ	インク面外巻き

1.10
1.11 1.6 メディア仕様

メディア仕様	
メディアロール容量	最大 5 インチ OD
メディアコア直経	1 インチ＆ 1.5 インチ ID コア

メディアタイプ	連続、ダイカット、ブラックマーク、外部ファンフォールド、ノッチ
メディア巻きタイプ	外巻き印刷
メディア幅	20 mm ～ 112 mm
メディア厚み	0.06 mm ～ 0.19 mm
ラベル長	10 mm ～最大印刷長
ラベル長（ピーラーモード）	25.4 mm ~ 152.4 mm（1” ~ 6”）
ラベル長（カッターモード）	25.4 mm ～最大印刷長
ブラックマーク	最小 8 mm（幅）x 2 mm（高）
ギャップ高	最小2 mm

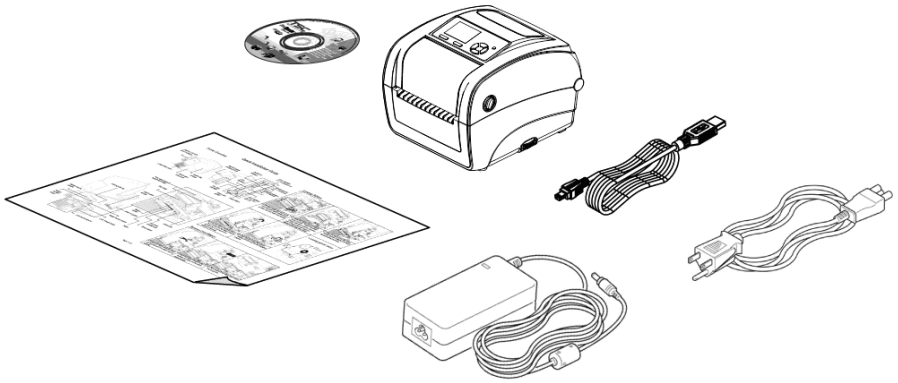
2. 操作概要

2.4
2.5 2.1 開梱検査

このプリンタは出荷中に損傷しないよう特別な梱包を行っています。バーコードプリンタを受け取ったら、すぐにパッケージとプリンタを注意深く点検してください。プリンタを返送する際に必要な場合があるので、梱包資材は保存しておいてください。

プリンタのカートンには、次の品目が含まれています。

- プリンタ装置 x1
- Windows ラベリングソフトウェア/Windows ドラバーCD ディスク x1
- クイックインストールガイド x1
- 電源コード x1
- 自動切り替え電源装置 x1
- USB インターフェイスケーブル x1



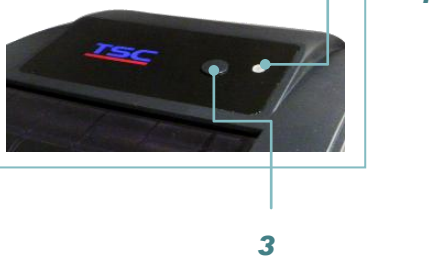
部品が不足している場合は、購入された小売店または販売業者のカスタマーサービス部に連絡してください。

2.6 2.2 プリンタ概要

2.2.1 正面図

TC210 シリーズの場合

TC200 シリーズの場合



1. LCD ディスプレイ
2. メニューボタン
3. フィードボタン
4. LED インジケータ
5. ナビゲーションボタン
6. リボンアクセスカバー
7. 上部カバーオープンレバー
8. * SD カードソケット
9. 排紙シュート

***推奨 SD カードの仕様**

TC210 シリーズの場合

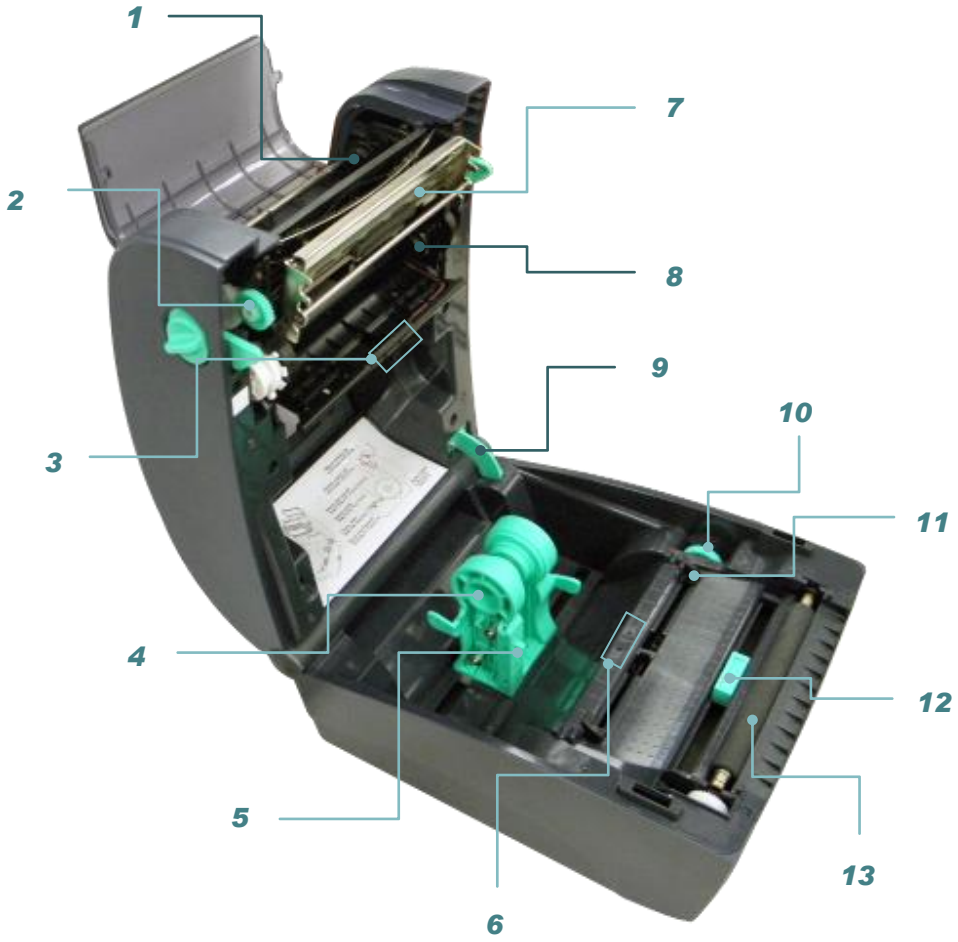
SD カード仕様	SD カード容量	認定 SD カード製造元
V2.0 SDHC CLASS 4	2 GB	Transcend
V2.0 SDHC CLASS 4	8 GB	SanDisk
V3.0 クラス 10 UHS	16 GB	SanDisk
V3.0 クラス 10 UHS	32 MB	Transcend
V2.0 SDHC CLASS 4	マイクロ SD 4 GB	Transcend

V2.0 SDHC CLASS 4	マイクロ SD 16 GB	SanDisk
V3.0 クラス 10 UHS	マイクロ SD 16GB	Transcend、Kingston
V3.0 クラス 10 UHS	マイクロ SD 32 GB	SanDisk
- DOS FAT ファイルシステムは SD カードに対応しています。 - SD カードに格納されるフォルダ/ファイルは 8.3 ファイル名フォーマットでなければなりません。 - miniSD/microSD カードツーSD カードスロットのアダプタが必要となります。		

TC200 シリーズの場合

SD カード仕様	SD カード容量	認定 SD カード製造元
V1.0、V1.1	128 MB	SanDisk、Transcend
V1.0、V1.1	256 MB	SanDisk、Transcend、Panasonic
V1.0、V1.1	512 MB	SanDisk、Transcend、Panasonic
V1.0、V1.1	1 GB	SanDisk、Transcend、Panasonic
V2.0 SDHC CLASS 4	4 GB	
V2.0 SDHC CLASS 6	4 GB	SanDisk、Transcend、Panasonic
V1.0、V1.1	マイクロ SD 128 MB	Transcend、Panasonic
V1.0、V1.1	マイクロ SD 256 MB	Transcend、Panasonic
V1.0、V1.1	マイクロ SD 512 MB	Panasonic
V1.0、V1.1	マイクロ SD 1 GB	Transcend、Panasonic
V2.0 SDHC CLASS 4	マイクロ SD 4 GB	Panasonic
V2.0 SDHC CLASS 6	マイクロ SD 4 GB	Transcend
V1.0、V1.1	ミニ SD 128 MB	Transcend、Panasonic
V1.0、V1.1	ミニ SD 256 MB	Transcend、Panasonic
V1.0、V1.1	ミニ SD 512 MB	Transcend、Panasonic
V1.0、V1.1	ミニ SD 1 GB	Transcend、Panasonic
V2.0 SDHC CLASS 4	ミニ SD 4 GB	Transcend
V2.0 SDHC CLASS 6	ミニ SD 4 GB	
- DOS FAT ファイルシステムは SD カードに対応しています。 - SD カードに格納されるフォルダ/ファイルは 8.3 ファイル名フォーマットでなければなりません。 - miniSD/microSD カードツーSD カードスロットのアダプタが必要となります。		

2.2.2 内部図



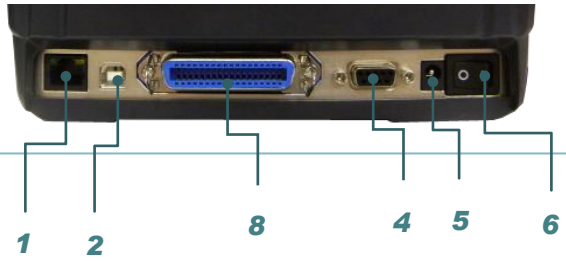
1. リボン巻き戻しハブ
2. リボン巻き戻しギア
3. ギャップセンサー（受信器）
4. メディアホルダ
5. メディアホルダロックスイッチ
6. ギャップセンサー（送信器）
7. プリンタヘッド
8. リボンサプライハブ
9. 上部カバー サポート
10. メディアガイド調整ノブ
11. メディアガイド
12. ブラックマークセンサー
13. プラテンローラー

2.2.3 背面図

TC210 シリーズの場合

1. イーサネットインターフェイス
2. USB インターフェイス
3. USB ホスト
4. RS-232C インターフェイス
5. 電源ジャックソケット
6. 電源スイッチ
7. 外部ラベルエントランスシュート
8. パラレルインターフェイス

TC200 シリーズの場合



このインターフェイス画像は参照用です。インターフェイスの可用性については製品仕様をご覧ください。

2.7 2.3 オペレータコントロール

2.3.1 LED 表示

このプリンタは、1 つの 3 色 LED インジケータを装備しています。

LED カラー	説明
緑/点灯	これは電源がオンで、装置の準備ができていることを示します。
緑/点滅	これは、装置がデータを PC からメモリへダウンロード中か、またはプリンタが一時停止中であることを示します。
黄色	これは装置がプリンタからデータを消去中であることを示します。
赤/点灯	プリンタヘッドが開いているための、カッターエラーを示します。
赤/点滅	ヘッドが開いていること、用紙切れ、紙の詰まり、またはメモリーエラーなどの印刷エラーを示します。

2.3.2 ボタン機能

TC200 シリーズの場合

- **フィードボタン**
  - プリンタの用意ができたら、ボタンを押して 1 つのラベルを次のラベルの先頭に送り込みます
  - プリンタの印刷中にボタンを押すと、印刷ジョブが一時停止します。プリンタが一時停止すると LED が緑に点滅します。ボタンを再び押すと、印刷ジョブが継続されます。

TC210 シリーズの場合

- **フィードボタン**
  - プリンタの用意ができたら、ボタンを押して 1 つのラベルを次のラベルの先頭に送り込みます
  - プリンタの印刷中にボタンを押すと、印刷ジョブが一時停止します。プリンタが一時停止すると LED が緑に点滅します。ボタンを再び押すと、印刷ジョブが継続されます。
  - プリンタがメニューに入ったら、ボタンを押して、カーソルを置いたアイテムに入る/選択します。
- **メニューボタン**
  - メニューに入ります
  - メニューを終了、あるいは設定をキャンセルし前のメニューに戻ります
- **ナビゲーションボタン**
  - メニューリストをスクロールします

3. 設定

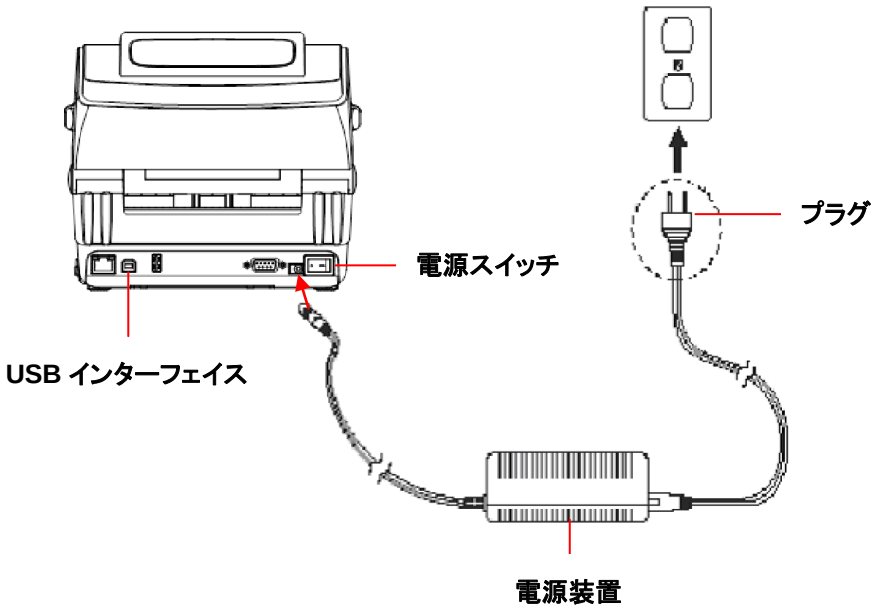
3.4 3.1 プリンタの設定

1. プリンタを平らで安全な表面に置きます。

2. 電源スイッチがオフになっていることを確認してください。

3. 付属の USB ケーブルでプリンタをコンピュータに接続します。

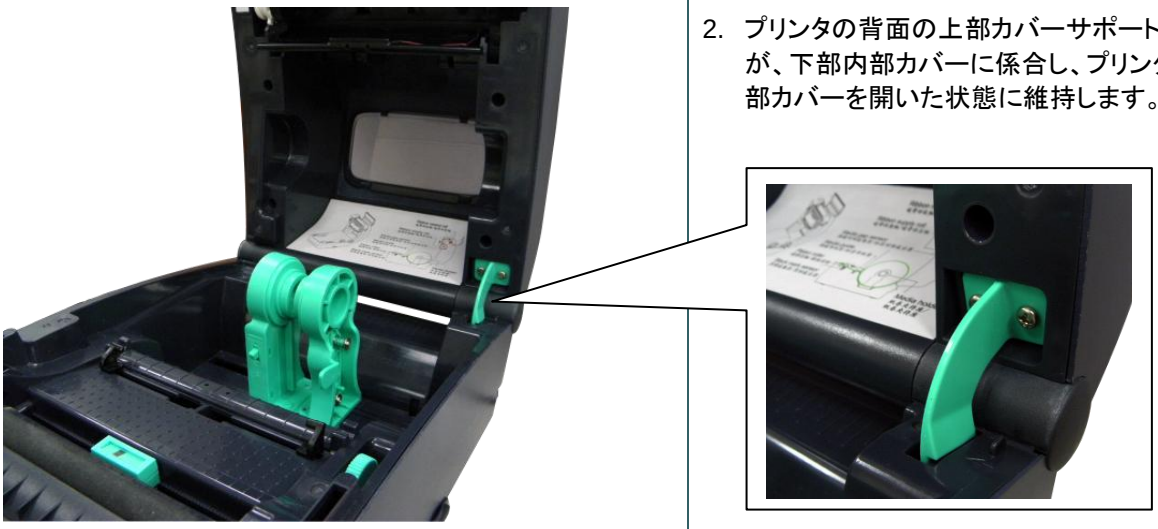
4. プリンタ背面の AC 電源コードソケットに電源コードを差し込み、正しく接地した電源コンセントに電源コードを差し込みます。



注記：プリンタ電源スイッチを OFF（オフ）にしてから、電源コードをプリンタの電源ジャックに差し込んでください。

3.5 3.2 上部カバーを開く/閉じる

1. プリンタの各サイドにある上部カバーのオープンレバーを引いて上部カバーを最大解放角まで上げることにより、プリンタの上部カバーを開きます。



2. プリンタの背面の上部カバーサポートが、下部内部カバーに係合し、プリンタ上部カバーを開いた状態に維持します。

3. 上部カバーを持って上部カバーサポートを押し、上部カバーサポートを下部カバー内側から外します。上部カバーをゆっくり閉じます。

3.6

3.7 3.3 リボンの装着

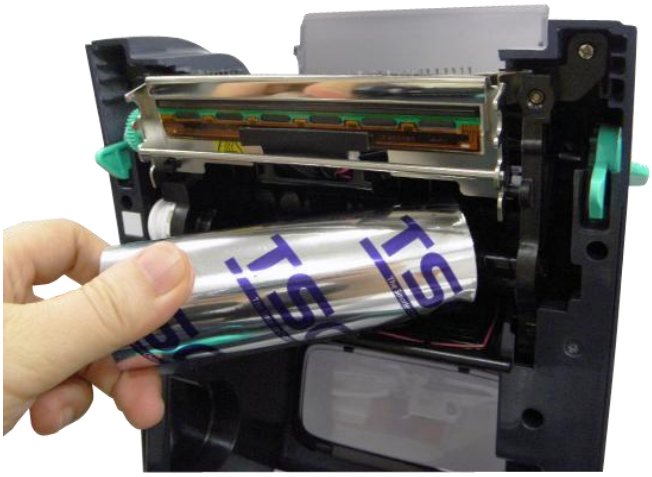
1. プリンタの各サイドにある上部カバーのオープンレバーを引いて上部カバーを最大解放角まで上げることにより、プリンタの上部カバーを開きます。

2. リボンアクセスカバーおよびメディアカバーを開きます。

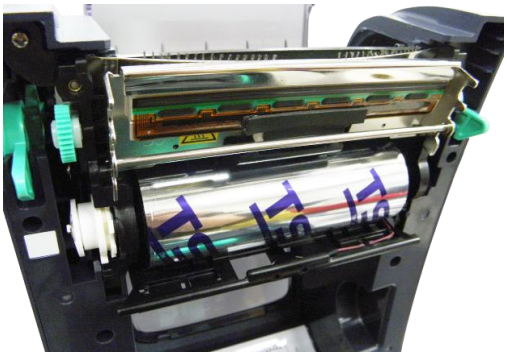
注記:

1. 通常印刷モードでは、上部カバーが開いている時にリボンアクセスカバーを開くことができます。上部カバーが開いているまたは閉じている時、リボンアクセスカバーを閉じることができます。

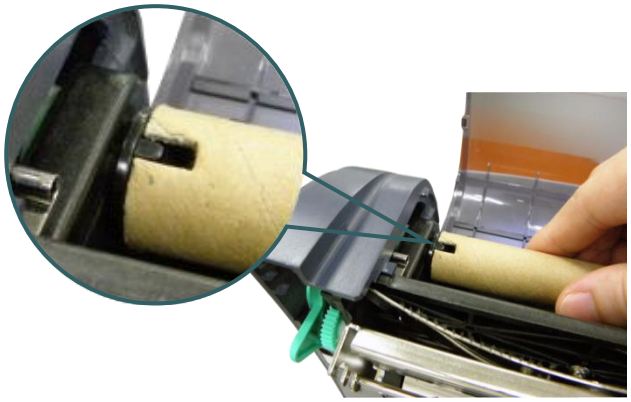
2. ピーラーおよびカッターモードでは、上部カバーを開いてください。リボンアクセスカバーを開くまたは閉じることができます。



3. リボンの右側をサプライハブに挿入します。左側にある V 字形の切込みをそろえてスポークに取り付けます。



4. ペーパーコアの右側を巻き戻しハブに挿入します。左側にある V 字形の切込みをそろえてスポークに取り付けます。

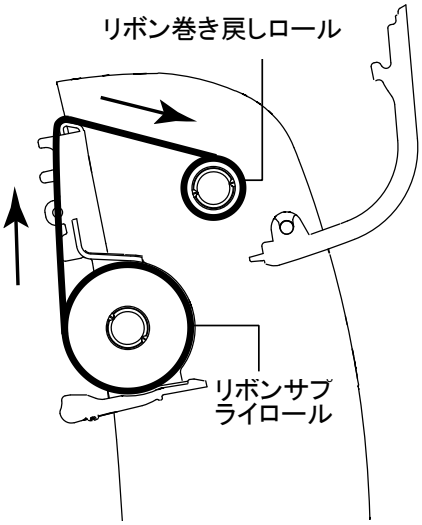


5. リボンをリボン巻き戻しペーパーコアに留めます。

6. リボンのプラスチック製リーダーが完全に巻かれ、リボンカバーの黒いセクションがプリントヘッドを覆うまでリボン巻き戻しギアを回します。

7. リボンアクセスカバーと上部カバーを閉じます。

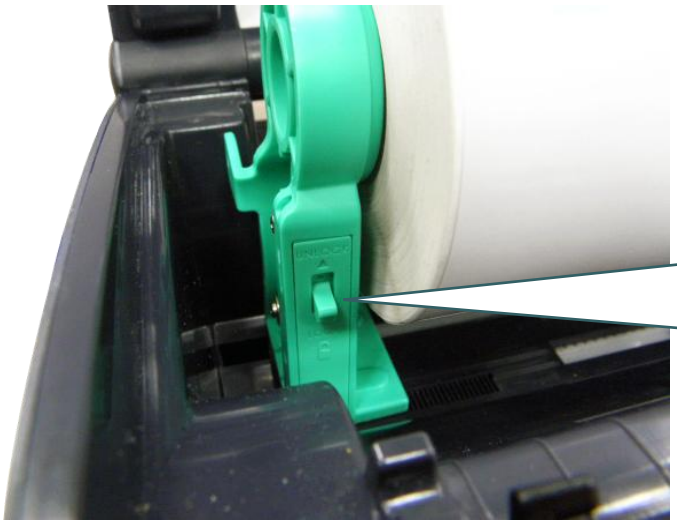
リボンの取り付け経路



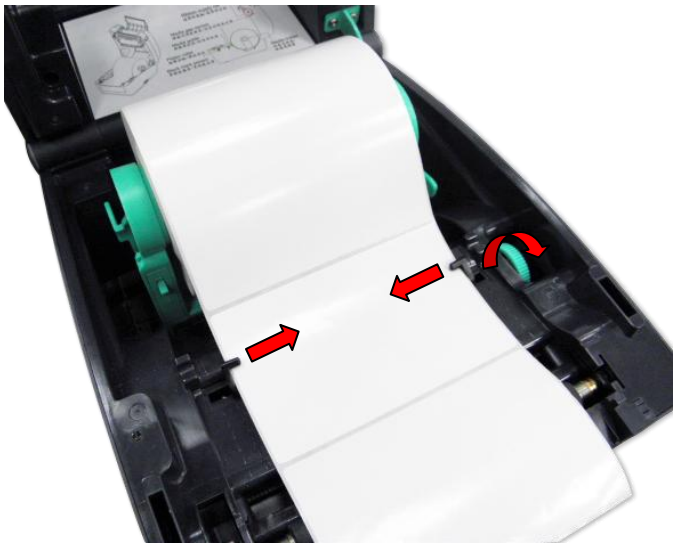
3.8 3.4 メディアの取り付け

3.4.1 メディアの取り付け

	1. 両サイドにあるタブをプリンタの正面側に引いてプリンタの上部カバーを開け、上部カバーを最大解放角まで持ち上げます。
	2. メディアホルダを分離し、開いた状態に維持します。
	3. ロールをホルダーの間に配置し、コア上でそれを閉じます。



4. メディアホルダのロックスイッチを押し下げて、メディアホルダを固定します。



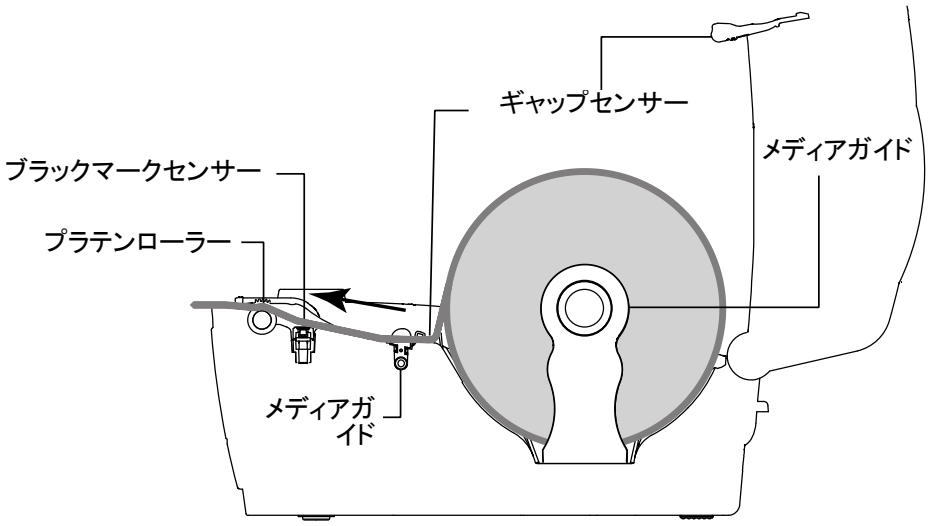
5. 印刷面を上に向けた状態でペーパーをメディアガイドおよびメディアセンサーに通して置き、ラベルの先端をプラテンローラー上に配置します。メディアガイドアジャスターノブを回して、ラベル幅がフィットするようにメディアガイドを動かします。

6. 上部カバーサポートを取り外し、上部カバーをゆっくりと閉じます。

7. 「Diagnostic Tool（診断ツール）」または LCD メニュー機能を使って、メディアセンサーの種類をセットし、選択したセンサーを校正します。

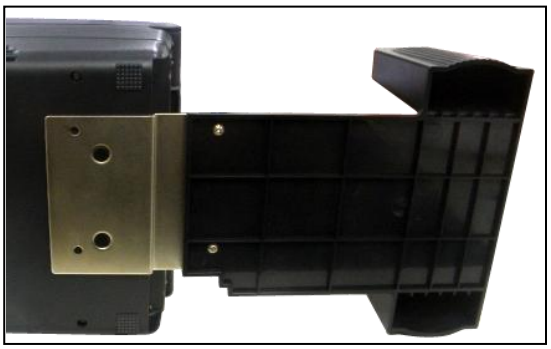
注記：
- **メディアを変更する時は、ギャップ/ブラックマークのセンサーを校正してください。**
- **詳細情報については、診断ユーティリティクイックスタートガイドを参照してください。（“Diagnostic tool”（診断ツール）をスタートし、→“Printer Configuration”（プリンタ構成）タブを選択して→ “Calibrate Sensor”（センサーの校正）ボタンをクリックします）**
- **LCD メニュー機能については、セクション 6 を参照してください。**

メディアの取り付け経路

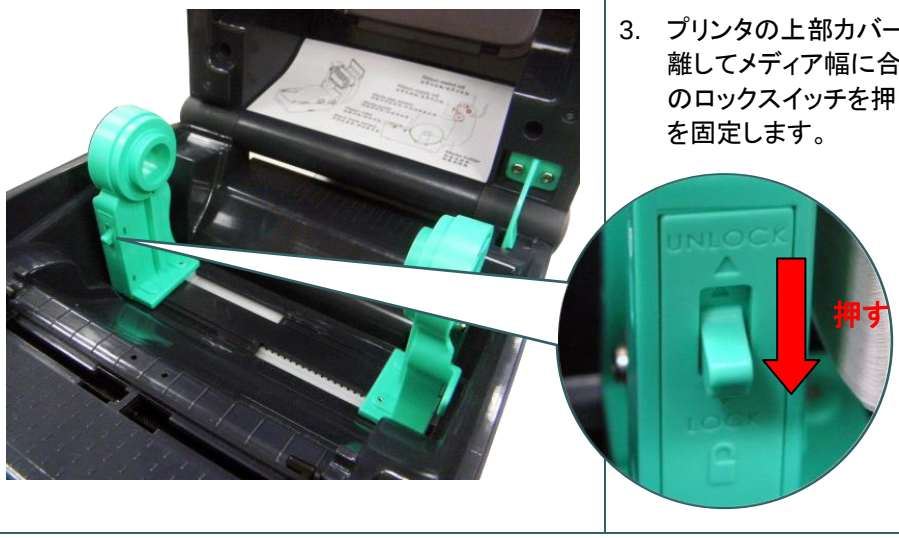


3.4.2 外部ラベルロールマウントの取り付け（オプション）

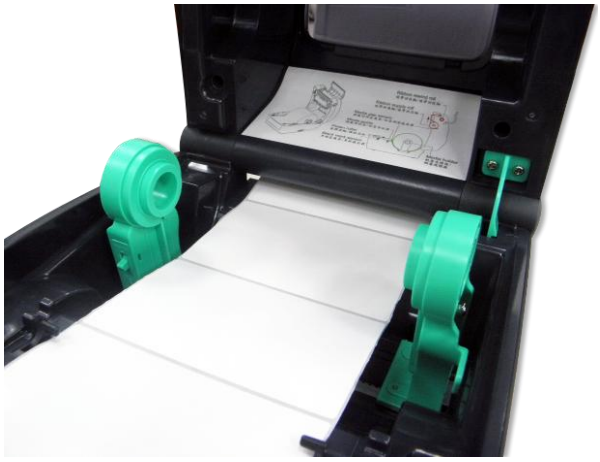
1. プリンタの下部に外部ペーパーロールマウントを取り付けます。



2. 3 インチラベルスピンドルをペーパーロールに挿入します。続いて、これを外部ペーパーロールマウントに取り付けます。



3. プリンタの上部カバーを開け、メディアホルダを離してメディア幅に合わせます。メディアホルダのロックスイッチを押し下げて、メディアホルダを固定します。



4. 背面の外部ラベル入口シュートからメディアを送ります。印刷面を上に向けた状態でペーパーをメディアガイドおよびメディアセンサーに通して置き、ラベルの先端をプラテンローラー上に配置します。メディアガイドアジャスターノブを回して、ラベル幅がフィットするようにメディアガイドを動かします。

5. 上部カバーサポートを取り外し、上部カバーをゆっくりと閉じます。

6. 「Diagnostic Tool（診断ツール）」または LCD メニュー機能を使って、メディアセンサーの種類をセットし、選択したセンサーを校正します。

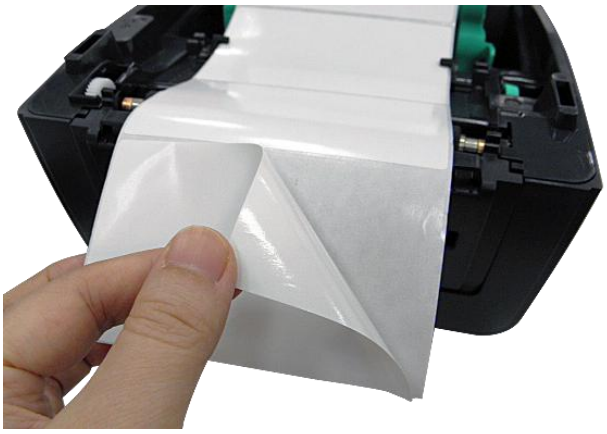
注記：

- **メディアを変更する時は、ギャップ/ブラックマークのセンサーを校正してください。**
- **詳細情報については、診断ユーティリティクイックスタートガイドを参照してください。（“Diagnostic tool”（診断ツール）をスタートし、→“Printer Configuration”（プリンタ構成）タブを選択して→ “Calibrate Sensor”（センサーの校正）ボタンをクリックします）**
- **LCD メニュー機能については、セクション 6 を参照してください。**

3.4.3 ピールオフモード（オプション）でのメディアの取り付け（オプション）

1. メディアをロードするには、セクション 3.3.1 を参照してください。
2. 「Diagnostic Tool（診断ツール）」または LCD メニュー機能を使って、メディアセンサーの種類をセットし、選択したセンサーを校正します。

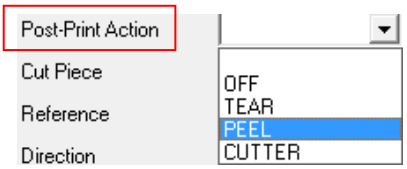
注記：
- **紙詰まりを避けるために、ピールオフモードでメディアを取り付けた後、ギャップ/ブラックマークセンサーを校正してください。**
- **メディアを変更する時は、ギャップ/ブラックマークのセンサーを校正してください。**



3. プリンタカバーを開きます。プリンタ正面からラベルを引き出し、ラベルをいくつか剥がしてライナーのみを残します。

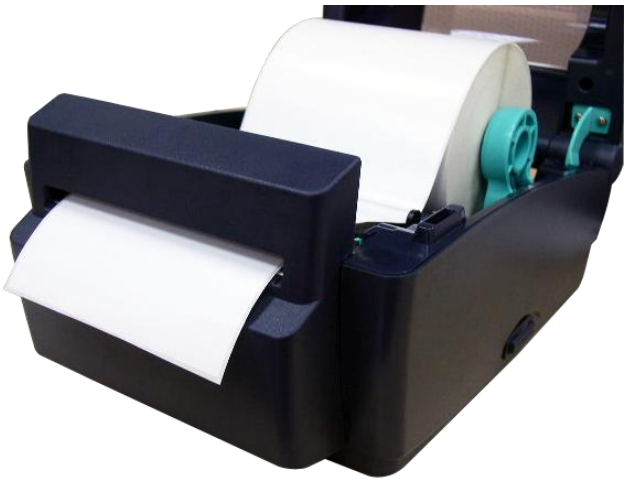
4. ピールオフカバーモジュールを開きます。ライナーをピールオフカバースロットにフィードします。

5. ピールオフモジュールを閉じます。DiagTool（診断ツール）または LCD メニュー機能を使って、ピールオフモードを有効にします。



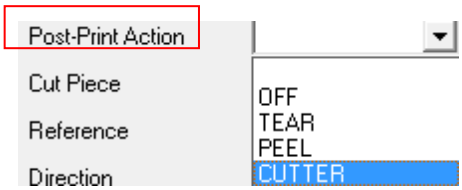
	6. 上部カバーサポートを取り外し、上部カバーを閉じます。プリンタのピールオフモードの準備が完了します。 7. FEED（フィード）ボタンを押してテストします。 **注記：** **ピールオフモジュールは、熱/普通紙のみをサポートします。**

3.4.4 カッターモードでのメディアの取り付け（オプション）



1. メディアをロードするには、セクション 3.3.1 を参照してください。
2. メディアをカッターペーパー開口部を通して送ります。

3. プリンタカバーを閉じます。
4. 「Diagnostic Tool（診断ツール）」または LCD メニュー機能を使って、メディアセンサーの種類をセットし、選択したセンサーを校正します。
5. DiagTool（診断ツール）または LCD メニュー機能を使って、カッターモードを有効にします。



6. FEED（フィード）ボタンを押してテストします。

注記：
メディアを変更する時は、ギャップ/ブラックマークのセンサーを校正してください。

4. 診断ツール

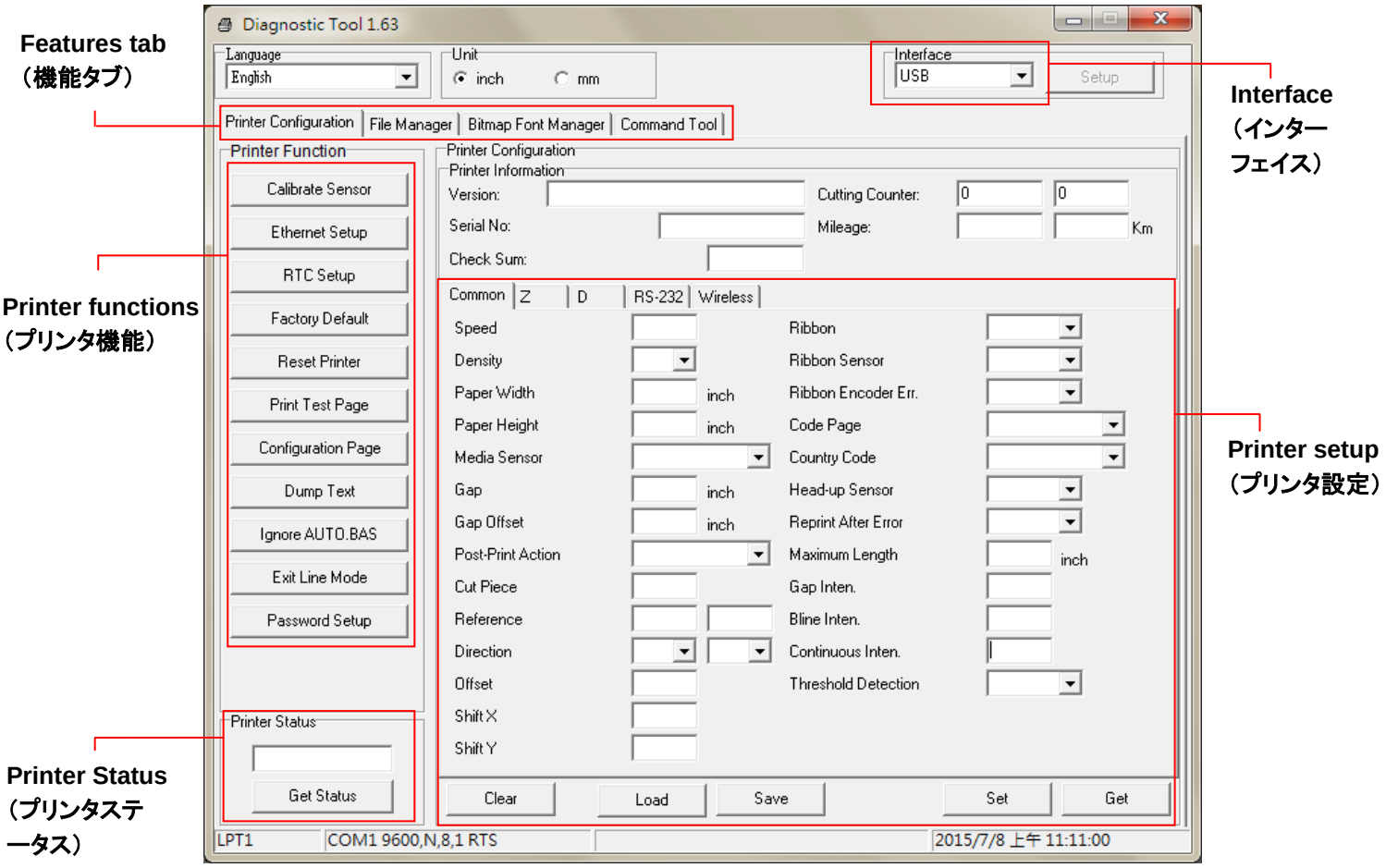
TSC の診断ユーティリティは、ユーザーがプリンタの設定や状態の検索、プリンタ設定の変更、グラフィックやフォント、ファームウェアのダウンロード、プリンタのビットマップフォントの作成、追加のコマンドのプリンタへの送信などを実行できる機能をまとめた統合ツールです。この強力なツールにより、ユーザーはプリンタのステータスや設定を瞬時に確認できるため、問題点のトラブルシューティングが容易になります。

4.4 4.1 診断ツールの開始

1. Diagnostic tool（診断ツールアイコン）アイコン

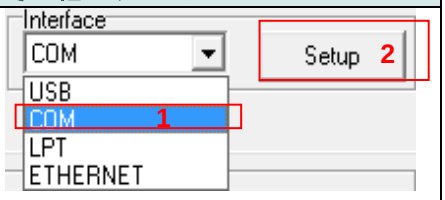
をダブルクリックするとソフトウェアが起動します。

2. 診断ユーティリティには 4 つの機能（Printer Donfiguration（プリンタ構成）、File Manager（ファイルマネージャー）、Bitmap Font Manager（ビットマップフォントマネージャー）、Command Tool（コマンドツール））が含まれます。



4.5 4.2 プリンタ機能

1. ケーブルでプリンタをコンピュータに接続します。
2. バーコードプリンタに接続された PC インターフェイスを選択します。

USB ケーブル	その他のケーブル
 デフォルトインターフェイス設定は USB インターフェイスです。USB インターフェイスがプリンタに接続されている場合、他の設定をインターフェイスフィールドで変更する必要はありません。	

3. 「Printer Function（プリンタ機能）」ボタンをクリックして設定します。
4. プリンタ機能グループの詳細機能は以下のとおりです。

機能	説明
Calibrate Sensor（センサー校正）	Printer Setup（プリンタ設定）グループメディアセンサー欄に指定されたセンサーを校正します
Ethernet Setup（イーサネット設定）	IP アドレス、サブネットマスク、オンボードのイーサネット用ゲートウェイを設定します
RTC Setup（RTC 設定）	プリンタのリアルタイムクロックと PC を同期します
Factory Default（工場出荷時デフォルト）	プリンタを初期化し、設定を工場出荷時のデフォルト値に復元します。
Reset Printer（プリンタリセット）	プリンタを再起動します
Print Test Page（テストページ印刷）	テストページを印刷します
Configuration Page（構成ページ）	プリンタ構成を印刷します
Dump Text（テキストダンプ）	プリンタダンプモードを起動します。
Ignore AUTO.BAS（AUTO.BAS の無視）	ダウンロードされた AUTO.BAS プログラムを無視します
Exit Line Mode（ラインモード終了）	ラインモードを終了します。
Password Setup（パスワード設定）	設定を保護するためにパスワードを設定します

注記：
診断ツールについての詳細は、CD ディスク\ユーティリティディレクトリの診断ユーティリティクイックスタートガイドを参照してください。

4.6 4.3 診断ツールによるイーサネットの設定

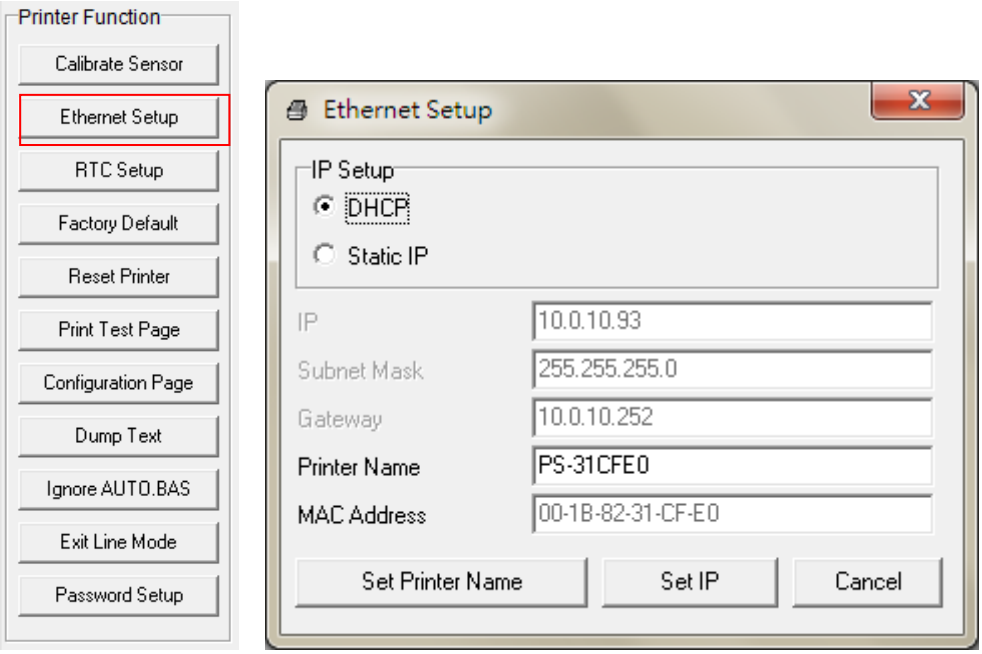
診断ユーティリティは CD ディスクのユーティリティディレクトリに含まれています。[診断ツールを使って、RS-232、USB とイーサネットインターフェイスによりイーサネットを設定することができます。以下は、これら 3 種類のインターフェイスによるイーサネットの構成方法の説明です。

4.3.1 USB インターフェイスを使用してイーサネットインターフェイスを設定する

1. USB ケーブルでプリンタをコンピュータに接続します。
2. プリンタの電源スイッチを入れます。
3.

アイコンをダブルクリックして診断ユーティリティを起動します。
4. Diagnostic Utility（診断ユーティリティ）のデフォルトインターフェイス設定は USB インターフェイスです。USB インターフェイスがプリンタに接続されている場合、他の設定をインターフェイスフィールドで変更する必要はありません。

5. 「Printer Configuration（プリンタ構成）」タブの「Printer Function（プリンタ機能）」グループか「ら Ethernet Setup（イーサーネット設定）」ボタンをクリックして、オンボードイーサネットの IP アドレス、サブネットマスク、およびゲートウェイを設定します。



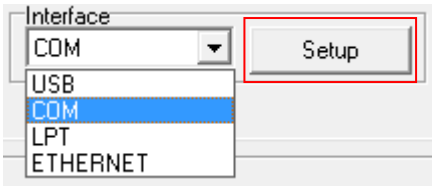
4.3.2 RS-232 インターフェイスを使用してイーサネットインターフェイスを設定する

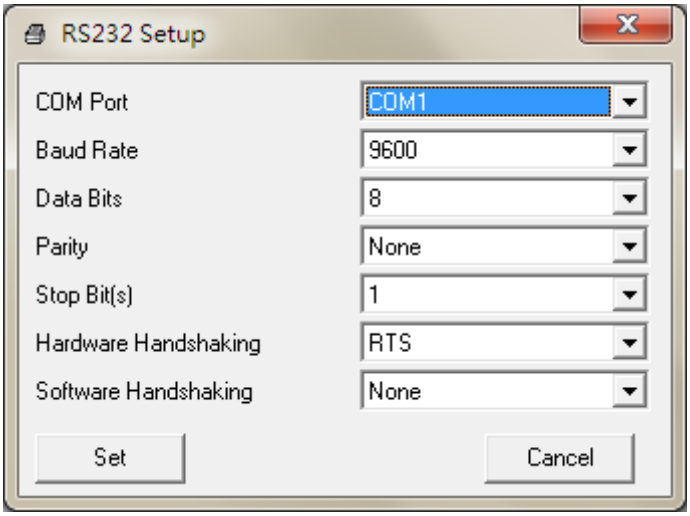
1. RS-232 ケーブルでプリンタをコンピュータに接続します。

2. プリンタの電源を入れます。

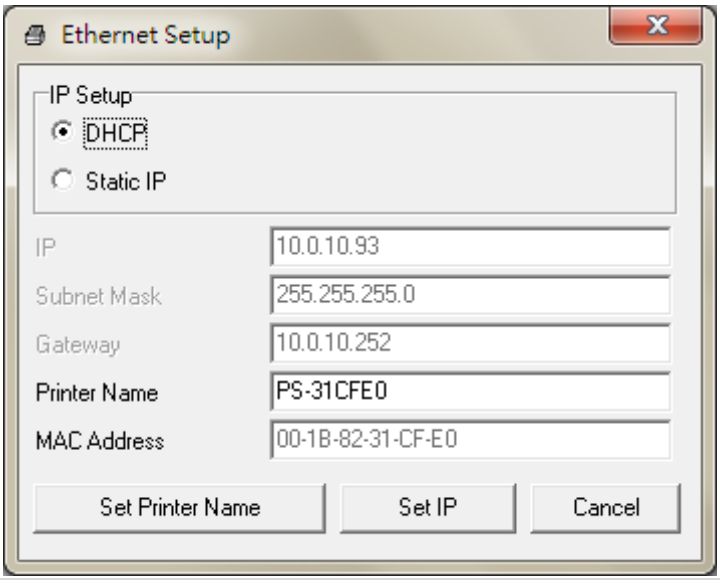
3. DiagTool.exe アイコンをダブルクリックして診断ユーティリティを起動します。

4. 「COM」をインターフェイスとして選択し、「Setup（設定）」ボタンをクリックしてシリアルポートボーレート、パリティチェック、データビット、ストップビット、フロー制御パラメータを設定します。

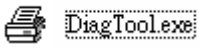




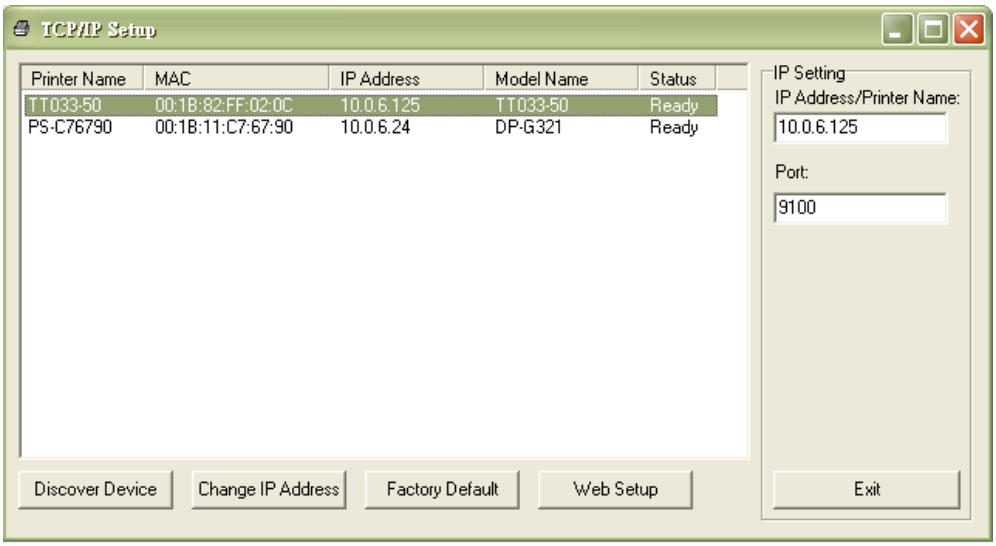
5. 「Printer Configuration（プリンタ構成）」タブの「Printer Function（プリンタ機能）」グループから「Ethernet Setup（イーサーネット設定）」ボタンをクリックして、オンボードイーサネットの IP アドレス、サブネットマスク、およびゲートウェイを設定します。



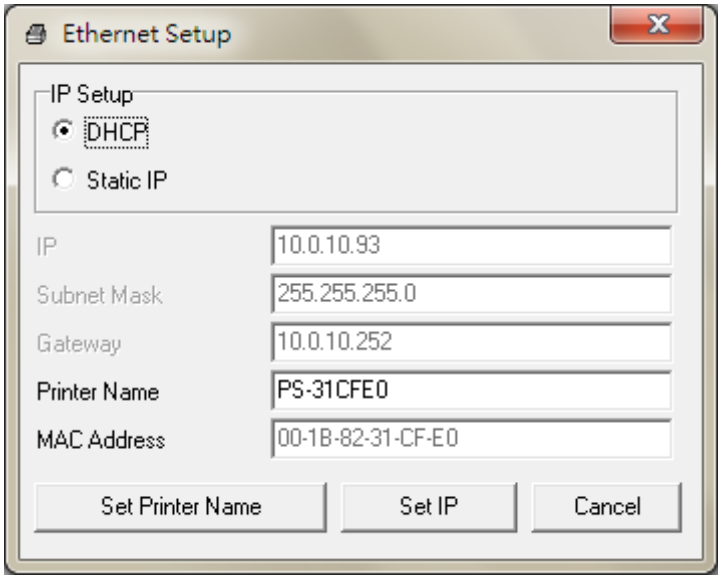
4.3.3 イーサネットインターフェイスを使ってイーサネットインターフェイスを設定する

1. コンピュータとプリンタを LAN に接続します。
2. プリンタの電源を入れます。
3. 

アイコンをダブルクリックして診断ユーティリティを起動します。
4. 「Ethernet（イーサネット）」をインターフェイスとして選択し、「Setup（設定）」ボタンをクリックしてオンボードイーサネットの IP アドレス、サブネットマスク、およびゲートウェイを設定します。



5. 「Discover Device（装置の発見）」ボタンをクリックして、ネットワーク上に存在するプリンタを検索します。
6. リストされたプリンタの左側にあるプリンタを選択します。対応する IP アドレスが右側の IP address/Printer Name（IP アドレス/プリンタ名）フィールドに表示されます。
7. 「Change IP Address（IP アドレスの変更）」をクリックし、DHCP またはスタティックによって得られた IP アドレスを構成します。



デフォルトの IP アドレスは DHCP によって得られます。設定をスタティックIPアドレスに変更するには、「Static IP（スタティック IP）」のラジオボタンをクリックしてから IP アドレス、サブネットマスク、およびゲートウェイを入力します。「Set IP（IP を設定）」をクリックして設定を有効にします。

また、このフィールドに別のモデル名を入力して「Printer Name（プリンタ名）」を変更してから「Set Printer Name（プリンタ名を設定）」をクリックして、この変更を有効にすることもできます。

注記：「Set Printer Name（プリンタ名を設定）」または「Set IP（IPを設定）」ボタンをクリックするとプリンタがリセットされ、設定が有効になります。

8. 「Exit（終了）」ボタンをクリックしてイーサネットインターフェイス設定を終了し、Diagnostic Tool （診断ツール）メイン画面に戻ります。

工場出荷時のデフォルトボタン

この機能は DHCP により得た IP、サブネットマスク、ゲートウェイのパラメータをリセットし、プリンタ名をリセットます。

ウェブ設定ボタン

プリンタの設定で Diagnostic Utility[診断ユーティリティ]を使用する場合を除き、プリンタ設定およびステータスを検索/構成したり、または IE や Firefox Web ブラウザでファームウェアを更新することができます。この機能は分かりやすい設定インターフェイスを提供し、ネットワーク上でプリンタをリモート管理します。

5. パワーオン・ユーティリティ

プリンタハードウェアを設定しテストするための 6 つのパワーオン・ユーティリティがあります。これらのユーティリティは、FEED（フィード）ボタンを押してから、プリンタの電源を入れると同時に、違うステータスの LED でボタンを同時に放すことで起動します。

各種のパワーオン・ユーティリティについては以下のステップに従ってください。

1. プリンタ電源スイッチを切ります。

2. ボタンを押し続けて電源スイッチをオンにします。

3. LED が異なる機能を異なるステータス（カラー）で表示したら、ボタンを放します。

パワーオン ユーティリティ	**LED カラーは次のようなパターンで変更されます：**							
LED カラー / *機能*	緑	黄色	赤 （点滅 5 回）	黄色 （点滅 5 回）	緑 （点滅 5 回）	緑/黄色 （点滅 5 回）	赤/黄色 （点滅 5 回）	緑で点灯
** リボンセンサー較正およびギャップ/ブラックマークセンサー較正*			*リリース*					
ギャップ/ブラックマークセンサー校正、セルフテスト、およびダンプモードに入る				*リリース*				
プリンタの初期化					*リリース*			
ブラックマークセンサーをメディアセンサーとして設定し、ブラックマークセンサーを校正する						*リリース*		
ギャップセンサーをメディアセンサーとして設定し、ギャップセンサーを校正する							*リリース*	
AUTO.BAS をスキップ								*リリース*

5.4 5.1 リボンおよびギャップ/ブラックマークセンサー校正

ギャップ/ブラックマーク センサー感度は以下の条件で校正される必要があります：

1. 新品のプリンタ

2. ラベルストックを変更します

3. プリンタの初期化

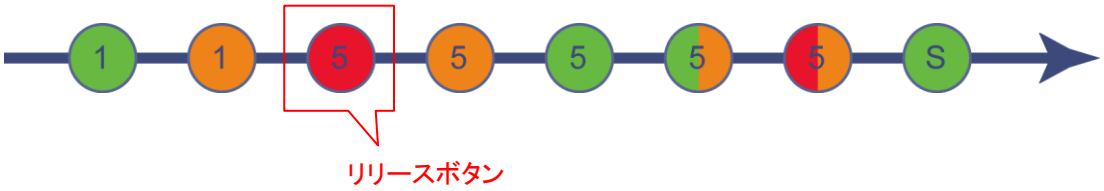
以下のステップにしたがってリボンおよびギャップ/ブラックマークセンサーを校正してください。

1. 電源スイッチを切ります。

2. ボタンを押し続けて電源スイッチをオンにします。

3. LED が**赤**で点滅し始めたらボタンを放します。（5 回の点滅のうちどの赤でも可）

- これにより、リボンセンサーおよびギャップ/ブラックマーク センサー感度が較正されます。
- LED カラーは次の順序で変更されます：
  緑色 → 黄色 → **赤色（5 回点滅）**→ 黄色（5 回点滅）→ 緑色（5 回点滅）→ 緑色/黄色（5 回点滅）→ 赤色/黄色（5 回点滅）→ 緑色で点灯



注記：

センサーを校正する前に、GAP あるいは BLINE コマンドをプリンタに送信し、ギャップまたはブラックマークセンサーを選択してください。

GAP および BLINE コマンドについての詳細は、TSPL2 プログラミング説明書を参照してください。

5.5 5.2 ギャップ/ブラックマーク校正、セルフテスト、ダンプモード

ギャップ/ブラックマークセンサーを校正しながら、プリンタはラベル長を測定し、内部構成（セルフテスト）をラベルに印刷し、そしてダンプモードに入ります。ギャップまたはブラックマークセンサーの校正は、最後の印刷ジョブでのセンサー設定に依存します。

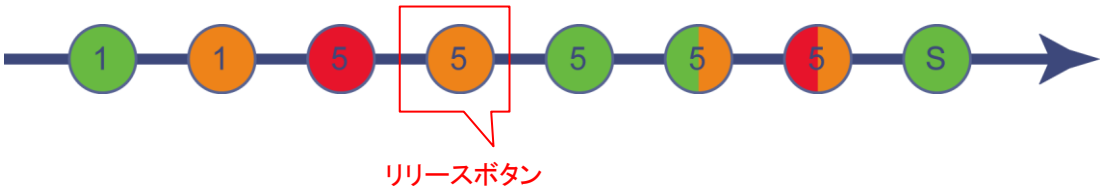
以下のステップにしたがってセンサーを校正してください。

1. 電源スイッチを切ります。

2. ボタンを押し続けて電源スイッチをオンにします。

3. LED が**黄色**で点滅を始めたらボタンを放します。（5 回の点滅のうちどの黄色でも可）。

   - LED は次の順序で変更されます。
     緑色 → 黄色 → 赤色（5 回点滅）→ **黄色（5 回点滅）**→ 緑色（5 回点滅）→ 緑色/黄色（5 回点滅）→ 赤色/黄色（5 回点滅）→ 緑色で点灯



4. センサーが校正され、ラベル長が測定され、内部設定が印刷されると、ダンプモードに入ります。

注記：

センサーを校正する前に、Diagnostic Tool（診断ツール）または、GAP あるいは BLINE コマンドにより、ギャップまたはブラックマークセンサーを選択してください。

GAP および BLINE コマンドについての詳細は、TSPL2 プログラミング説明書を参照してください。

■ セルフテスト

プリンタはギャップ/ブラックマークセンサー較正の後、プリンタ構成を印刷します。セルフテストのプリントアウトは、発熱素子上のドット損傷、プリンタ構成、空きメモリを点検するために使用できます。

セルフテスト印刷

```
-----------------------------
     SYSTEM INFORMATION
-----------------------------
       MODEL: XXXXXX
    FIRMWARE: X.XX
    CHECKSUM: XXXXXXXX
         S/N: XXXXXXXXXXX
         TCF: NO
        DATE: 1970/01/01
        TIME: 00:04:18
  NON-RESET: 110      m (TPH)
       RESET: 110      m (TPH)
  NON-RESET: 0          (CUT)
       RESET: 0          (CUT)
-----------------------------

-----------------------------
      PRINTING SETTING
-----------------------------
       SPEED: 5 IPS
     DENSITY: 8.0
       WIDTH: 4.00 INCH
      HEIGHT: 4.00 INCH
         GAP: 0.00 INCH
   INTENSION: 5
    CODEPAGE: 850
     COUNTRY: 001
-----------------------------

-----------------------------
          Z SETTING
-----------------------------
    DARKNESS: 16.0
       SPEED: 4 IPS
       WIDTH: 4.00 INCH
       TILDE: 7EH  (~)

       CARET: 5EH  (^)
   DELIMITER: 2CH  (,)
    POWER UP: NO MOTION
  HEAD CLOSE: NO MOTION
-----------------------------

-----------------------------
        RS232 SETTING
-----------------------------
        BAUD: 9600
      PARITY: NONE
    DATA BIT: 8
    STOP BIT: 1
-----------------------------
```

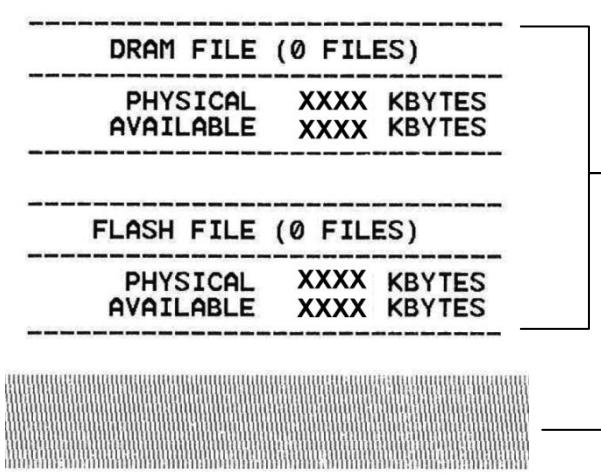
モデル名
ファームウェアバージョン
ファームウェアチェックサム
プリンタシリアル番号
構成ファイル
システム日付
システム時刻
印刷されたマイレージ（メートル）
カット回数

印刷速度（インチ/秒）
印刷濃度
ラベルサイズ（インチ）
ギャップ距離（インチ）
ギャップ/ブラックマーク センサー強度
Code page（コードページ）
国コード

ZPL 設定情報
印刷濃度
印刷速度（インチ/秒）
ラベルサイズ
コントロールプレフィックス
フォーマットプレフィックス
区切り文字プレフィックス
プリンタ電源オン動作
プリンタヘッドクローズ動作

注記：
ZPL は、Zebra®言語をエミュレートします。

RS232 シリアルポート構成


DRAM FILE (0 FILES)
PHYSICAL XXXX KBYTES
AVAILABLE XXXX KBYTES
FLASH FILE (0 FILES)
PHYSICAL XXXX KBYTES
AVAILABLE XXXX KBYTES
ダウンロード済みファイル数
総合＆空きメモリ容量
プリンタヘッド チェックパターン

■ ダンプモード

プリンタはプリンタ構成の印刷後にダンプモードに入ります。ダンプモードでは、すべての文字が次のように 2 列に印刷されます。左側の文字はお客様のシステムから受け取られたもので、右側のデータは文字に対応する 16 進値です。これにより、ユーザーやエンジニアがプログラムの検証とデバッグを行うことができます。

ASCII データ →

```
SPEED 2.0   53 50 45 45 44 20 32 2E 30 0D
 DENSITY 8  0A 44 45 4E 53 49 54 59 20 38
  SET PEEL  0D 0A 53 45 54 20 50 45 45 4C
 OFF  DIRE  20 4F 46 46 0D 0A 44 49 52 45
CTION 0  G  43 54 49 4F 4E 20 30 0D 0A 47
AP 3.00 mm  41 50 20 33 2E 30 30 20 6D 6D
,0.00 mm    2C 30 2E 30 30 20 6D 6D 0D 0A
REFERENCE   52 45 46 45 52 45 4E 43 45 20
0,0  SET C  30 2C 30 0D 0A 53 45 54 20 43
UTTER OFF   55 54 54 45 52 20 4F 46 46 0D
 SIZE 100.  0A 53 49 5A 45 20 31 30 30 2E
02 mm,65.0  30 32 20 6D 6D 2C 36 35 2E 30
4 mm  CLS   34 20 6D 6D 0D 0A 43 4C 53 0D
 BARCODE 1  0A 42 41 52 43 4F 44 45 20 31
44,149,"39  34 34 2C 31 34 39 2C 22 33 39
",120,1,0,  22 2C 31 32 30 2C 31 2C 30 2C
2,6,"57114  32 2C 36 2C 22 35 37 31 31 34
38T"  PRIN  33 38 54 22 0D 0A 50 52 49 4E
T 1,1  SPE  54 20 31 2C 31 0D 0A 53 50 45
ED 2.0  DE  45 44 20 32 2E 30 0D 0A 44 45
NSITY 8  S  4E 53 49 54 59 20 38 0D 0A 53

ET PEEL OF  45 54 20 50 45 45 4C 20 4F 46
F  DIRECTI  46 0D 0A 44 49 52 45 43 54 49
ON 0  GAP   4F 4E 20 30 0D 0A 47 41 50 20
3.00 mm,0.  33 2E 30 30 20 6D 6D 2C 30 2E
00 mm  REF  30 30 20 6D 6D 0D 0A 52 45 46
ERENCE 0,0  45 52 45 4E 43 45 20 30 2C 30
  SET CUTT  0D 0A 53 45 54 20 43 55 54 54
ER OFF  SI  45 52 20 4F 46 46 0D 0A 53 49
ZE 100.02   5A 45 20 31 30 30 2E 30 32 20
mm,65.04 m  6D 6D 2C 36 35 2E 30 34 20 6D
m  CLS  BA  6D 0D 0A 43 4C 53 0D 0A 42 41
RCODE 144,  52 43 4F 44 45 20 31 34 34 2C
149,"39",1  31 34 39 2C 22 33 39 22 2C 31
20,1,0,2,6  32 30 2C 31 2C 30 2C 32 2C 36
,"5711438T  2C 22 35 37 31 31 34 33 38 54
"  PRINT 1  22 0D 0A 50 52 49 4E 54 20 31
,1          2C 31 0D 0A
```

← ASCII データの左側列に関連する 16 進法データ

注記:

1. **ダンプモードには幅 4 インチの用紙幅が必要です。**
2. **通常印刷でプリンタを再開するには、電源をオフ/オンにします。**

5.6 5.3 プリンタの初期化

プリンタの初期化は、DRAM をクリアしてプリンタ設定をデフォルトに戻すために使用されます。唯一の例外はリボン感度で、これはデフォルトに復元されることはありません。

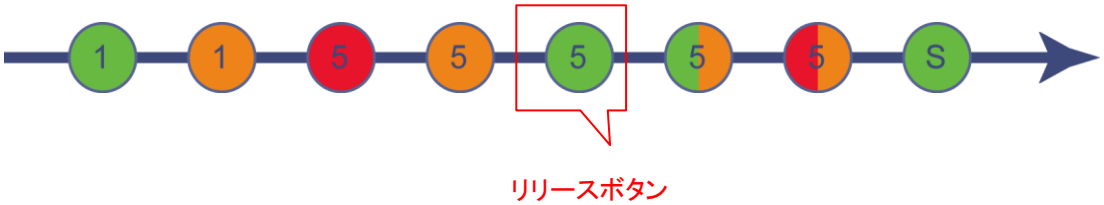
プリンタの初期化は次の手順で有効になります。

1. 電源スイッチを切ります。

2. ボタンを押し続けて電源スイッチをオンにします。

3. 黄色が 5 回点滅した後、LED が**緑**に変わったらボタンを放します。(5 回の点滅のうちどの緑でも可)

- LED は次のように変化します。
  緑色 → 黄色 → 赤色(5 回点滅)→ 黄色(5 回点滅)→ **緑色(5 回点滅)**→ 緑色/黄色(5 回点滅)→ 赤色/黄色(5 回点滅)→ 緑色で点灯



プリンタ構成は、初期化の後、以下のようにデフォルトに戻ります。

パラメータ	デフォルト設定
Speed(速度)	127 mm/秒(5 ips)(203DPI) 76 mm/秒(3 ips)(300DPI)
Density(濃度)	8
ラベル幅	101.5 mm(4")
ラベル高	101.5 mm(4")
センサーの種類	ギャップセンサー
ギャップ設定	3.0 mm(0.12")
印刷方向	0
基準点	0,0(左上隅)
Offset(オフセット)	0
テアモード	オン
ピールオフモード	オフ
Cutter Mode(カッターモード)	オフ
シリアルポート設定	9600 bps、パリティなし、8 データビット、1 ストップビット
コードページ	850
国コード	001
フラッシュメモリを消去	いいえ
IP Address	DHCP

5.7 5.4 ブラックマーク センサーをメディアセンサーとして設定し、ブラックマークセンサーを校正する

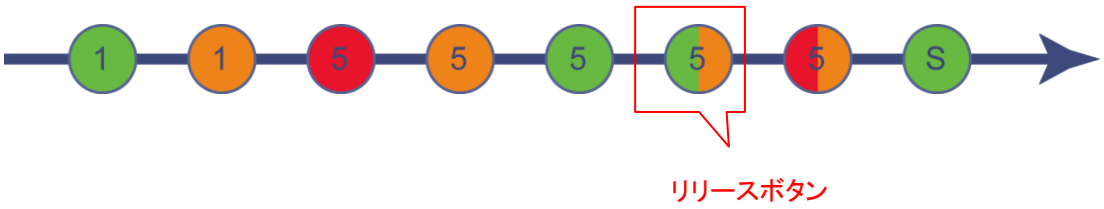
以下の手順に従ってください。

1. 電源スイッチを切ります。

2. ボタンを押し続けて電源スイッチをオンにします。

3. 緑が 5 回点滅した後、LED が **緑/黄色**に変わったらボタンを放します。(5 回の点滅のうちどの緑/黄色でも可)。

   - LED は次のように変化します。
     緑色 → 黄色 → 赤色(5 回点滅)→ 黄色(5 回点滅)→ 緑色(5 回点滅)→ **緑色/黄色(5 回点滅)**→ 赤色/黄色(5 回点滅)→ 緑色で点灯



5.8 5.5 ギャップセンサーをメディアセンサーとして設定し、ギャップセンサーを校正する

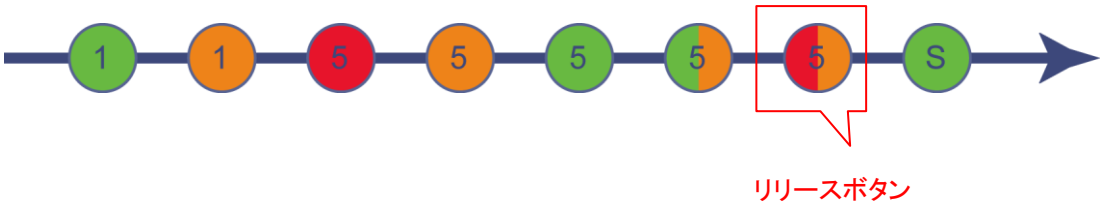
以下の手順に従ってください。

1. 電源スイッチを切ります。

2. ボタンを押し続けて電源スイッチをオンにします。

3. 緑/黄色が 5 回点滅した後、LED が **赤/黄色**に変わったらボタンを放します。(5 回の点滅のうちどの赤/黄色でも可)。

   ■ LED は次のように変化します。
   緑色 → 黄色 → 赤色(5 回点滅)→ 黄色(5 回点滅)→ 緑色(5 回点滅)→ 緑色/黄色(5 回点滅)→ **赤色/黄色(5 回点滅)**→ 緑色で点灯



5.9 5.6 AUTO.BAS をスキップする

TSPL2 プログラミング言語では、自動実行ファイルをフラッシュメモリにダウンロードすることができます。プリンタの電源が入ると、直ちにプリンタは AUTO.BAS プログラムを実行します。パワーオン・ユーティリティでプログラムを実行せずに、AUTO.BAS プログラムを中断することができます。

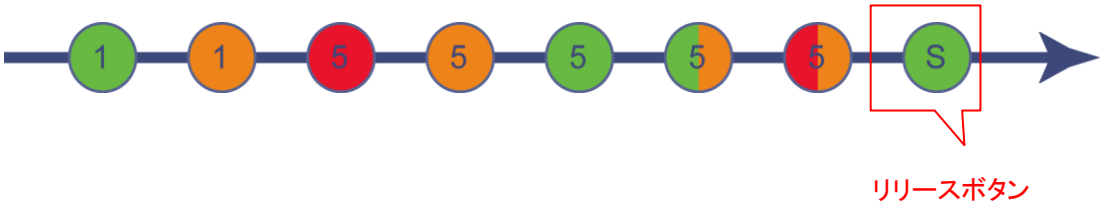
AUTO.BAS プログラムをスキップするには、以下の手順に従ってください。

1. プリンタの電源を切ります。

2. FEED（フィード）ボタンを押してから、電源を入れてください。

3. LED が**緑で点灯**し始めたら FEED（フィード）ボタンを放します。

   - LED は次のように変化します。
     緑色 → 黄色 → 赤色（5 回点滅）→ 黄色（5 回点滅）→ 緑色（5 回点滅）→ 緑色/黄色（5 回点滅）→ 赤色/黄色（5 回点滅）→ **緑色で点灯**



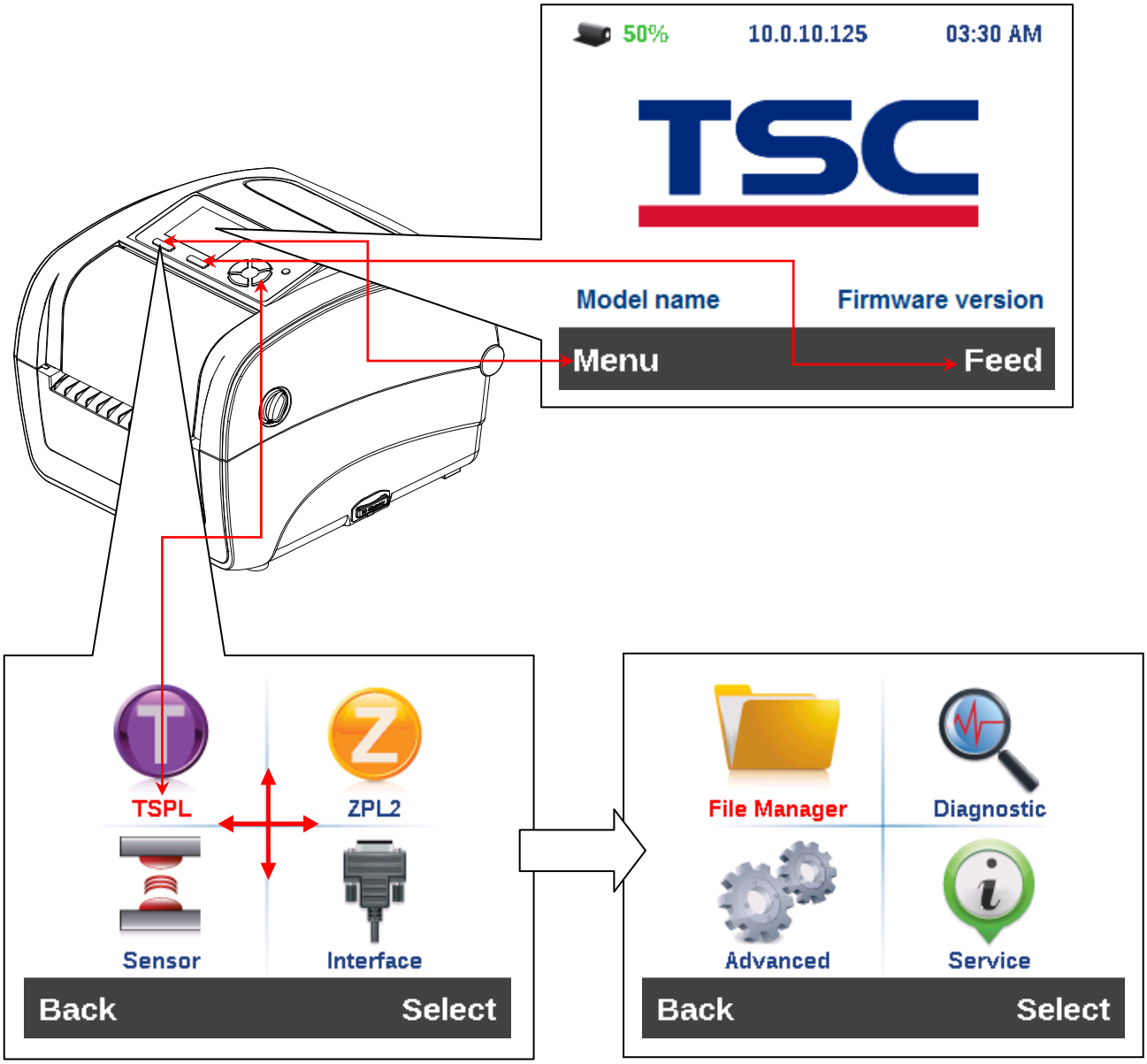
4. プリンタは AUTO.BAS プログラムを実行するために中断されます。

6. LCD メニュー機能

6.4
6.5 メニューに入る

「Menu（メニュー）」ボタンを押して、メインメニューに入ります。「Cross（十字）」ボタンを使って、メインメニューでアイテムを選択します。選択したアイテムが赤色に変わります。「Feed（フィード）」ボタンを押して、設定リストに入ります。

注記：この LCD 機能は、TC210/310 シリーズ向けです。

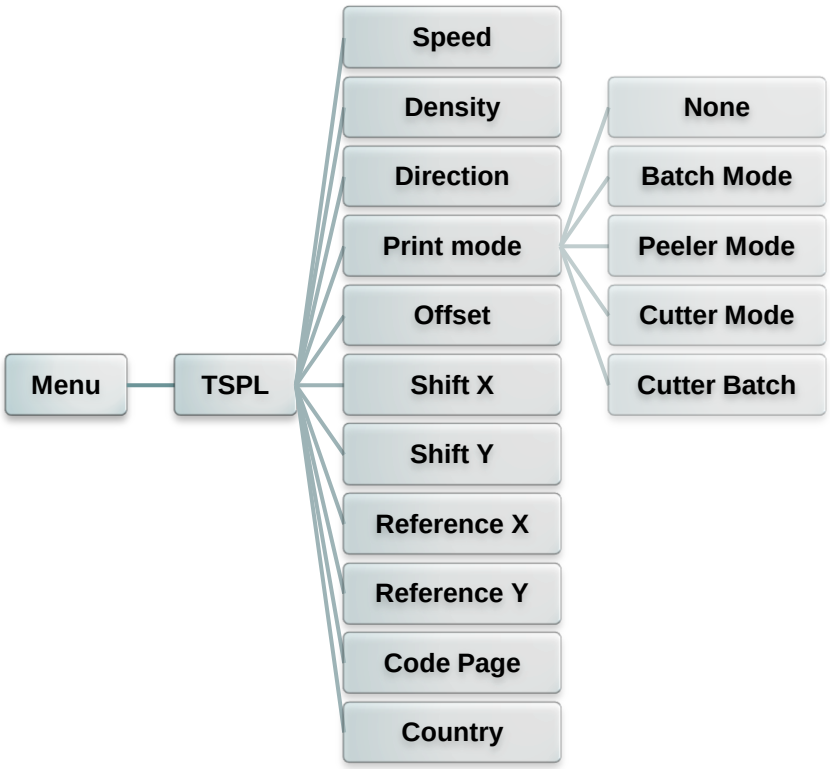


6.6 6.2 メインメニュー概要

メインメニューには、8 つのカテゴリーがあります。コンピュータを接続せずに、簡単にプリンタの設定を行うことができます。詳細については、以下のセクションを参照してください。

6.7 6.3 TSPL2

この「TSPL2」カテゴリでは、TSPL2 用のプリンタ設定をセットアップすることができます。



アイテム	説明	デフォルト
Speed（速度）	このアイテムを使用して印刷速度を設定します。	なし
Density（濃度）	このオプションを使用して印刷濃度を設定します。設定可能な範囲は、0～15 です、各ステップは 1 ずつとなります。選択するメディアに応じて、濃度を調整する必要があります。	8
Direction（方向）	方向設定値は、1 あるいは 0 となります。このアイテムを使用して、排紙方向を設定します。 DIRECTION（方向）0 / DIRECTION（方向）1 Direction FEED Direction	0

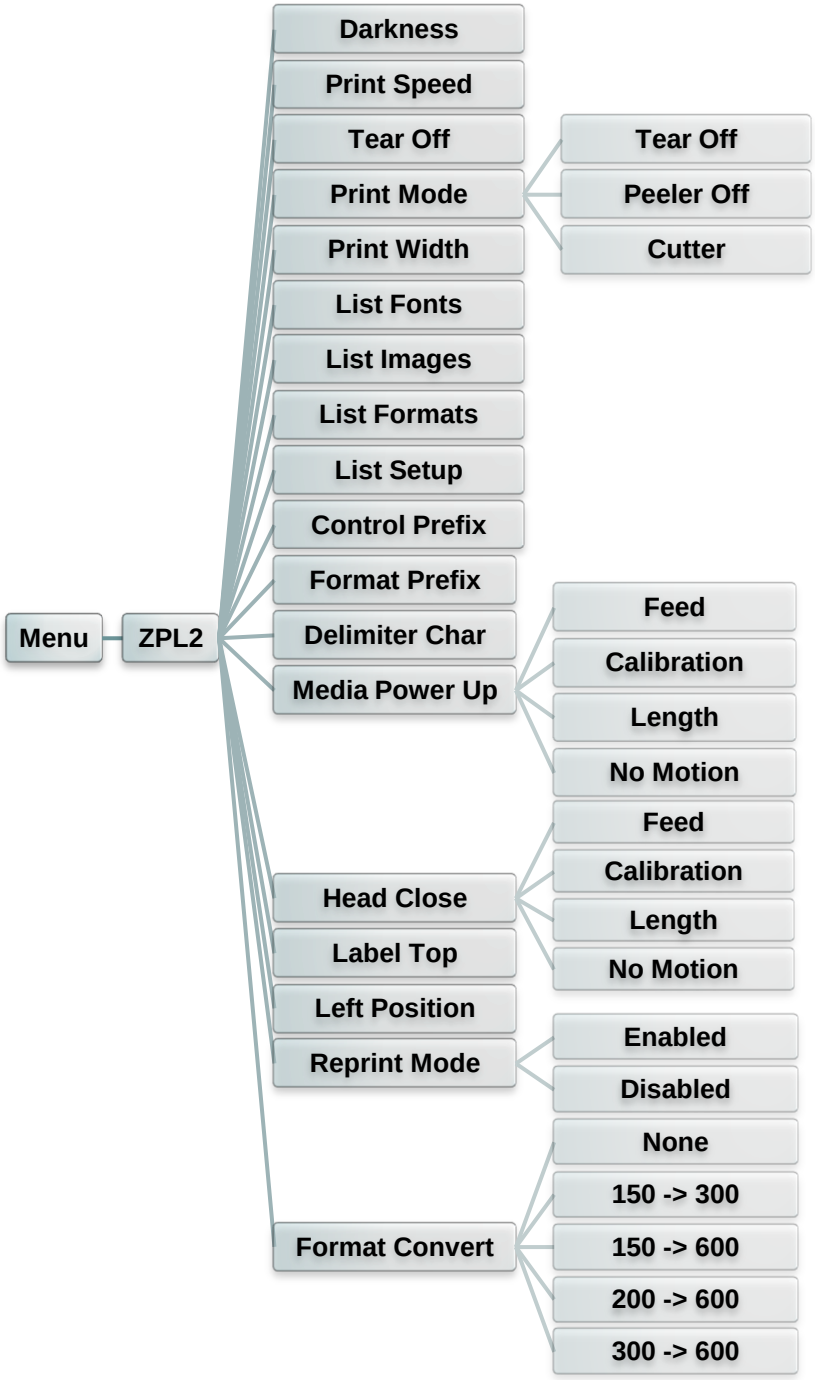
<table>
<tr><td>Print mode
（印刷モード）</td><td>このアイテムを使用して印刷モードを設定します。以下の 5 つのモードがあります。

<table><tr><th>プリンタモード</th><th>説明</th></tr><tr><td>None（なし）</td><td>次のフォームのラベルトップは、プリンタヘッド焼付けラインの位置に並べられます。（テアオフモード）</td></tr><tr><td>Batch Mode
（バッチモード）</td><td>画像が完全に印刷されると、ラベルギャップ/ブラックマークがテアプレートの位置にフィードされて、テアアウェイが行われます。</td></tr><tr><td>Peeler Mode
（ピーラーモード）</td><td>ラベルピールオフモードを有効化します。</td></tr><tr><td>Cutter Mode
（カッターモード）</td><td>ラベルカッターモードを有効化します。</td></tr><tr><td>Cutter Batch
（カッターバッチ）</td><td>印刷ジョブの終わりにラベルを一度だけ切ります。</td></tr></table></td><td>Batch Mode
（バッチモード）</td></tr>
<tr><td>Offset
（オフセット）</td><td>このアイテムを使用してメディアの停止位置を微調整します。利用可能な設定値は、“+”から“-”または“0”から“9”です。</td><td>+000</td></tr>
<tr><td>Shift X
（シフト X）</td><td rowspan="2">このアイテムを使用して印刷位置を微調整します。利用可能な設定値は、“+”から“-”または“0”から“9”です。</td><td>+000</td></tr>
<tr><td>Shift Y
（シフト Y）</td><td>+000</td></tr>
<tr><td>Reference X
（基準 X）</td><td rowspan="2">このアイテムを使用してプリンタの座標点システムの原点を水平および垂直に設定します。利用可能な設定値は、“0”から“9”です。</td><td>000</td></tr>
<tr><td>Reference Y
（基準 Y）</td><td>000</td></tr>
<tr><td>Code page
（コードページ）</td><td>このアイテムを使用して、国際文字セットのコードページを設定します。</td><td>850</td></tr>
<tr><td>Country（国）</td><td>このオプションを使用して、国コードを設定します。</td><td>001</td></tr>
</table>

注記：付属のソフトウェア/ドライバを使用して印刷する場合は、ソフトウェア/ドライバが送出するコマンドが、フロントパネルによる設定を上書きします。

6.8 ZPL2

この「ZPL2」カテゴリでは、ZPL2 用のプリンタ設定をセットアップすることができます。



アイテム	説明	デフォルト
Darkness（濃度）	このアイテムを使用して印刷濃度を設定します。設定可能な範囲は、0～30 です、各ステップは 1 ずつとなります。選択するメディアに応じて、濃度を調整する必要があります。	**16**
Print Speed（印刷速度）	このアイテムを使用して印刷速度を設定します。各増加/減少は 1IPS ごとです。利用可能な設定は、2～6 です。	**6（203 dpi）** **4（300 dpi）** **3（600 dpi）**

<table>
<tr><td>Tear Off（テアオフ）</td><td>このアイテムを使用してメディアの停止位置を微調整します。利用可能な設定値は、“+”から“-”または“0”から“9”です。</td><td>+000</td></tr>
<tr><td>Print mode
（印刷モード）</td><td>このアイテムを使用して印刷モードを設定します。以下の 3 つのモードがあります。
<table><tr><th>プリンタモード</th><th>説明</th></tr><tr><td>Tear Off
（テアオフ）</td><td>次のフォームのラベルトップは、プリンタヘッド焼付けラインの位置に並べられます。</td></tr><tr><td>Peeler Off
（ピーラーオフ）</td><td>ラベルピールオフモードを有効化します。</td></tr><tr><td>Cutter
（カッター）</td><td>ラベルカッターモードを有効化します</td></tr></table></td><td>Tear Off（テアオフ）</td></tr>
<tr><td>Print Width
（印刷幅）</td><td>このアイテムを使用して印刷幅を設定します。利用可能な値は、“0”から“9”です。</td><td>なし</td></tr>
<tr><td>List Fonts
（フォント一覧）</td><td>この機能を使用して、現在プリンタで使用できるフォントのリストをラベルに印刷します。フォントはプリンタの DRAM、Flash あるいはオプションのメモリカードに保存されています。</td><td>なし</td></tr>
<tr><td>List Images
（画像一覧）</td><td>この機能を使用して、現在プリンタで使用できる画像のリストをラベルに印刷します。画像はプリンタの DRAM、Flash あるいはオプションのメモリカードに保存されています。</td><td>なし</td></tr>
<tr><td>List Formats
（フォーマット一覧）</td><td>この機能を使用して、現在プリンタで使用できるフォーマットのリストをラベルに印刷します。フォーマットはプリンタの DRAM、Flash あるいはオプションのメモリカードに保存されています。</td><td>なし</td></tr>
<tr><td>List Setup
（設定一覧）</td><td>この機能を使用して、現在のプリンタ構成をラベルに印刷します。</td><td>なし</td></tr>
<tr><td>Control Prefix
（コントロールプレフィックス）</td><td>この機能を使用してコントロールプレフィックス文字を設定します。</td><td>なし</td></tr>
<tr><td>Format Prefix
（フォーマットプレフィックス）</td><td>この機能を使用してフォーマットプレフィックス文字を設定します。</td><td>なし</td></tr>
<tr><td>Delimiter Char
（区切り文字）</td><td>この機能を使用して区切り文字を設定します。</td><td>なし</td></tr>
<tr><td>Media Power Up
（電源オン時メディア）</td><td>このオプションを使用して、プリンタの電源をオンにした際のメディアのアクションを設定します。
<table><tr><th>選択肢</th><th>説明</th></tr><tr><td>Feed
（フィード）</td><td>プリンタによりラベルがひとつ進みます。</td></tr><tr><td>Calibration
（校正）</td><td>プリンタはセンサーのレベルを校正し、長さを決定してラベルをフィードします。</td></tr><tr><td>Length（長さ）</td><td>プリンタは長さを決定してラベルをフィードします。</td></tr><tr><td>No Motion
（アクションなし）</td><td>プリンタによりメディアが動くことはありません。</td></tr></table></td><td>No Motion
（アクションなし）</td></tr>
</table>

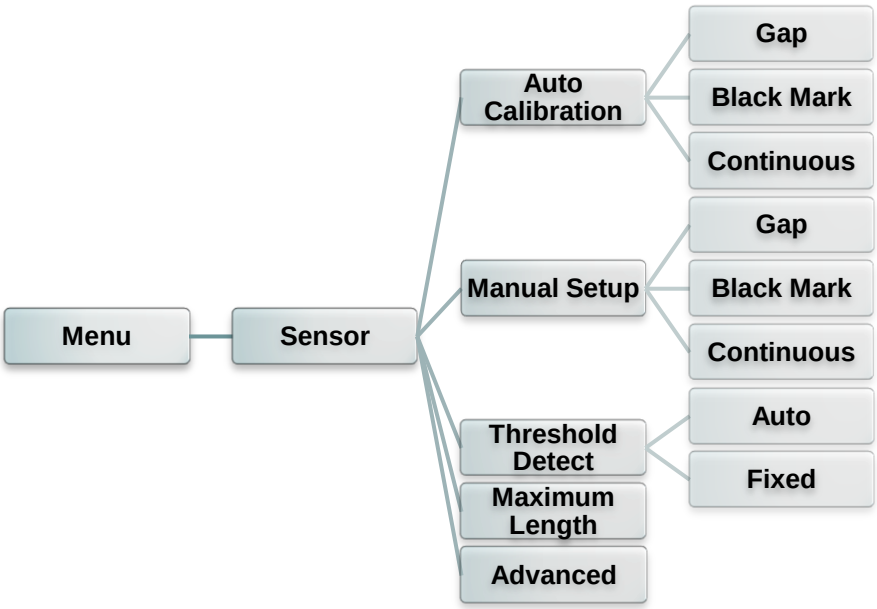
<table>
<tr><td>Head Close
（ヘッドクローズ）</td><td>このオプションを使用して、プリンタのヘッドを閉じた際のメディアのアクションを設定します。

<table><tr><th>選択肢</th><th>説明</th></tr><tr><td>Feed
（フィード）</td><td>プリンタによりラベルがひとつ進みます。</td></tr><tr><td>Calibration
（校正）</td><td>プリンタはセンサーのレベルを校正し、長さを決定してラベルをフィードします。</td></tr><tr><td>Length（長さ）</td><td>プリンタは長さを決定してラベルをフィードします。</td></tr><tr><td>No Motion
（アクションなし）</td><td>プリンタによりメディアが動くことはありません。</td></tr></table></td><td>No Motion
（アクション
なし）</td></tr>
<tr><td>Label Top
（ラベルトップ）</td><td>この機能を使用して、ラベルの垂直方向における印刷位置を調整します。範囲は、-120～+120 ドットです。</td><td>0</td></tr>
<tr><td>Left Position
（左位置）</td><td>この機能を使用して、ラベルの水平方向における印刷位置を調整します。範囲は、-9999～+9999 ドットです。</td><td>+0000</td></tr>
<tr><td>Reprint Mode
（再印刷モード）</td><td>再印刷モードが有効である場合、プリンタのコントロールパネルの「UP（上へ）」ボタンを押すことで、最後のラベルプリンタを再印刷することができます。</td><td>無効</td></tr>
<tr><td>Format Convert
（フォーマット変換）</td><td>ビットマップ倍率を選択します。最初の数字は、元の 1 インチあたりのドット数（dpi）であり、2 番目の数字はスケーリングする dpi です。</td><td>None（なし）</td></tr>
</table>

注記：付属のソフトウェアドライバを使用して印刷する場合は、ソフトウェアドライバが送出するコマンドが、フロントパネルによる設定を上書きします。

6.9 センサー

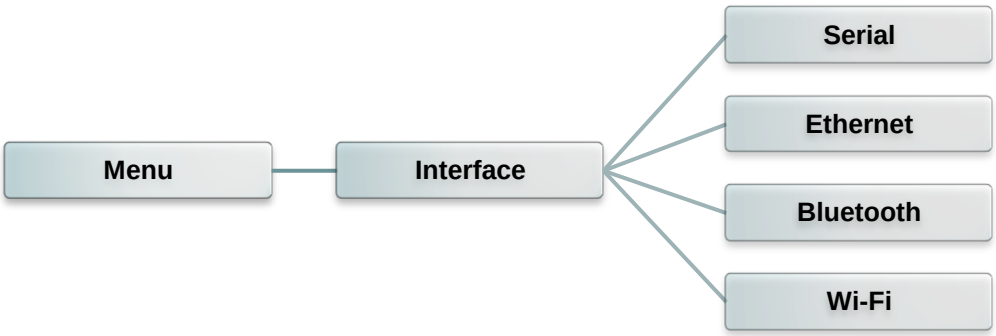
このオプションを使用して選択したセンサーを校正します。メディアを変更した際は、印刷の前にセンサーを校正することが推奨されます。



アイテム	説明	デフォルト
Auto Calibration（自動校正）	プリンタが自動的にセンサーの感度を校正するために 2～3 ギャップのラベルをフィードします。	なし
Manual Setup（手動設定）	「Auto Calibration（自動校正）」がメディアに適用できない場合は、「Manual Setup（手動設定）」機能を使用しセンサー感度を手動で校正してください。	なし
Threshold Detect（しきい値検出）	このオプションは、センサー感度を固定または自動に設定するために使用されます。	Auto（自動）
Maximum Length（最大長）	このオプションは、ラベル校正用に最大長さを設定するために使用されます。	254mm
Advanced（詳細）	この機能を使用して、センサー感度の自動校正の最小用紙長さおよびギャップ/B ラインサイズを設定することができます。	OFF（オフ）

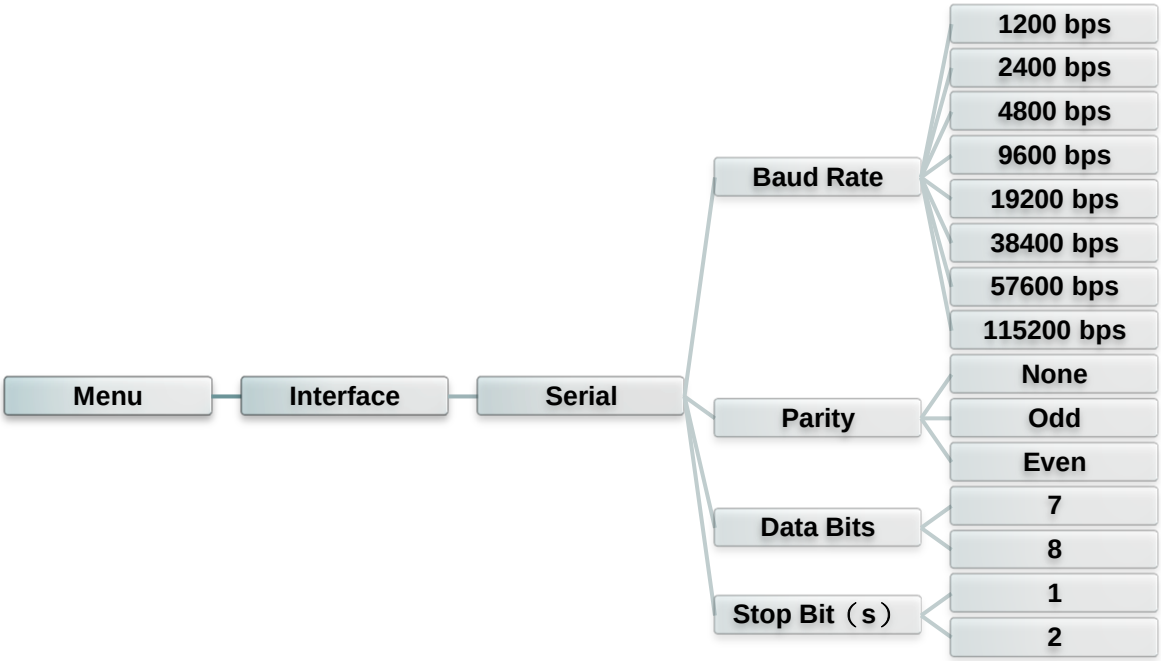
6.10 Interface（インターフェイス）

このオプションを使用して、プリンタインターフェイス設定を設定します。



6.10.1 シリアル通信

このオプションを使用して、プリンタ RS-232 設定を設定します。

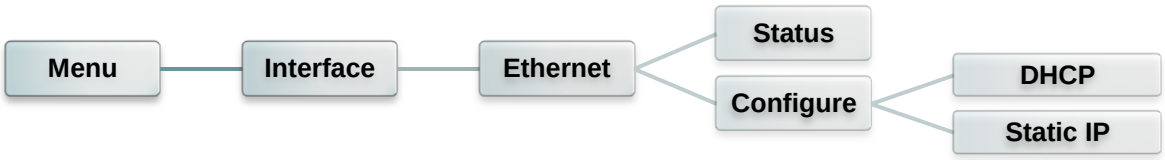


アイテム	説明	デフォルト
Baud Rate（ボーレート）	このアイテムを使用して RS-232 ボーレートを設定します。	9600
Parity（パリティ）	このアイテムを使用して RS-232 パリティを設定します。	None（なし）
Data Bits（データビット）	このアイテムを使用して RS-232 データビットを設定します。	8
Stop Bit（ストップビット）	このアイテムを使用して RS-232 ストップビットを設定します。	1

6.6.2 イーサネット

このメニューを使って、内部イーサネット設定を行い、プリンタのイーサネット

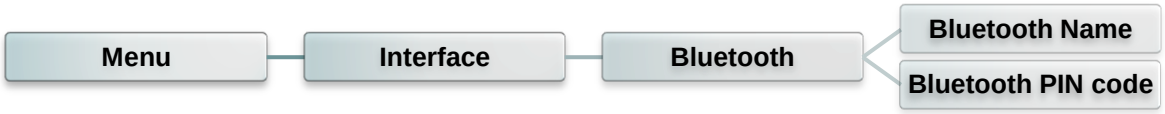
モジュールのステータスを確認し、イーサネットモジュールをリセットします。



アイテム	説明	デフォルト
Status（ステータス）	このメニューを使用してイーサネット IP アドレスおよび MAC 設定ステータスを確認することができます。	なし
DHCP	このアイテムは、DHCP（動的ホスト構成プロトコル）ネットワークプロトコルをオンまたはオフにするために使用されます。	なし
Static IP（スタティック IP）	このメニューを使用してプリンタの IP アドレス、サブネットマスク、ゲートウェイを設定します。	ON（オン）

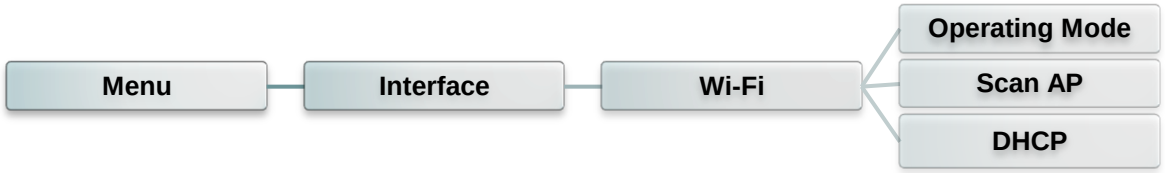
6.6.3 Bluetooth

このオプションを使用して、プリンタの Bluetooth 設定を行います。



アイテム	説明	デフォルト
Bluetooth Name（Bluetooth 名）	このアイテムは、Bluetooth のローカル名を設定するために使用されます。	**BT-SPP**
Bluetooth PIN Code（Bluetooth PIN コード）	このアイテムは、Bluetooth のローカル PIN コードを設定するために使用されます。	**0000**

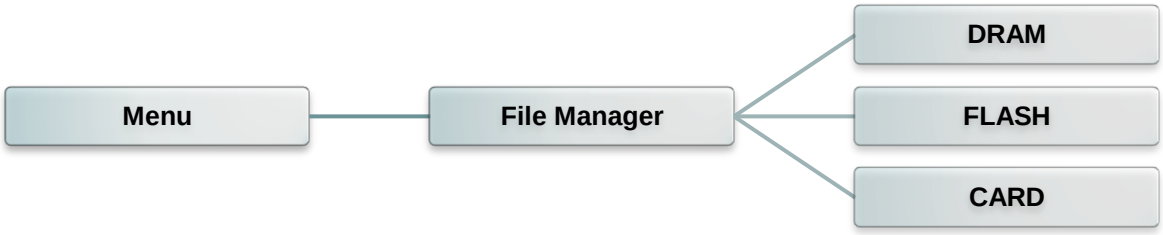
6.6.4 Wi-Fi



アイテム	説明	デフォルト
Operating（動作）	このアイテムは、装置をネットワークに接続する際にワイヤレスローカルエリアネットワークの動作モードを設定するために使用されます。 **注記：** **インフラストラクチャモードでは、この通信を行うために、アクセスポイントの使用を必要とします。** **アドホックモードでは、他のコンピュータにコンピュータを直接接続します。**	**Infrastructure（インフラストラクチャ）**
Scan AP（スキャン AP）	このアイテムは、アクセスポイント装置をスキャンするために使用されます	**なし**
DHCP	このアイテムは、DHCP（動的ホスト構成プロトコル）ネットワークプロトコルをオンまたはオフにするために使用されます。	**ON（オン）**

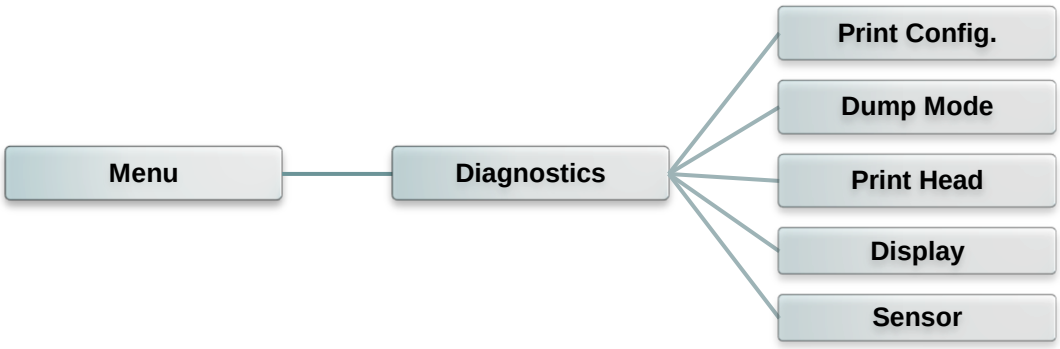
6.11 ファイルマネージャー

この機能を使用して、現在プリンタで使用できるメモリおよびファイルリストを確認します。



アイテム	説明
DRAM	このメニューを使用して、プリンタ DRAM メモリに保存されたファイルを表示、削除、実行(.BAS)することができます。
FLASH	このメニューを使用して、プリンタ Flash メモリに保存されたファイルを表示、削除、実行(.BAS)することができます。
CARD (カード)	このメニューを使用して、プリンタカードメモリに保存されたファイルを表示、削除、実行(.BAS)することができます。

6.12 診断



6.12.1 印刷設定

この機能を使用して、現在のプリンタ構成をラベルに印刷します。構成印刷にはプリンタヘッドテストパターンが印刷され、プリンタヘッドのヒーター部位にドットの破損があるかを確認するのに役立ちます。

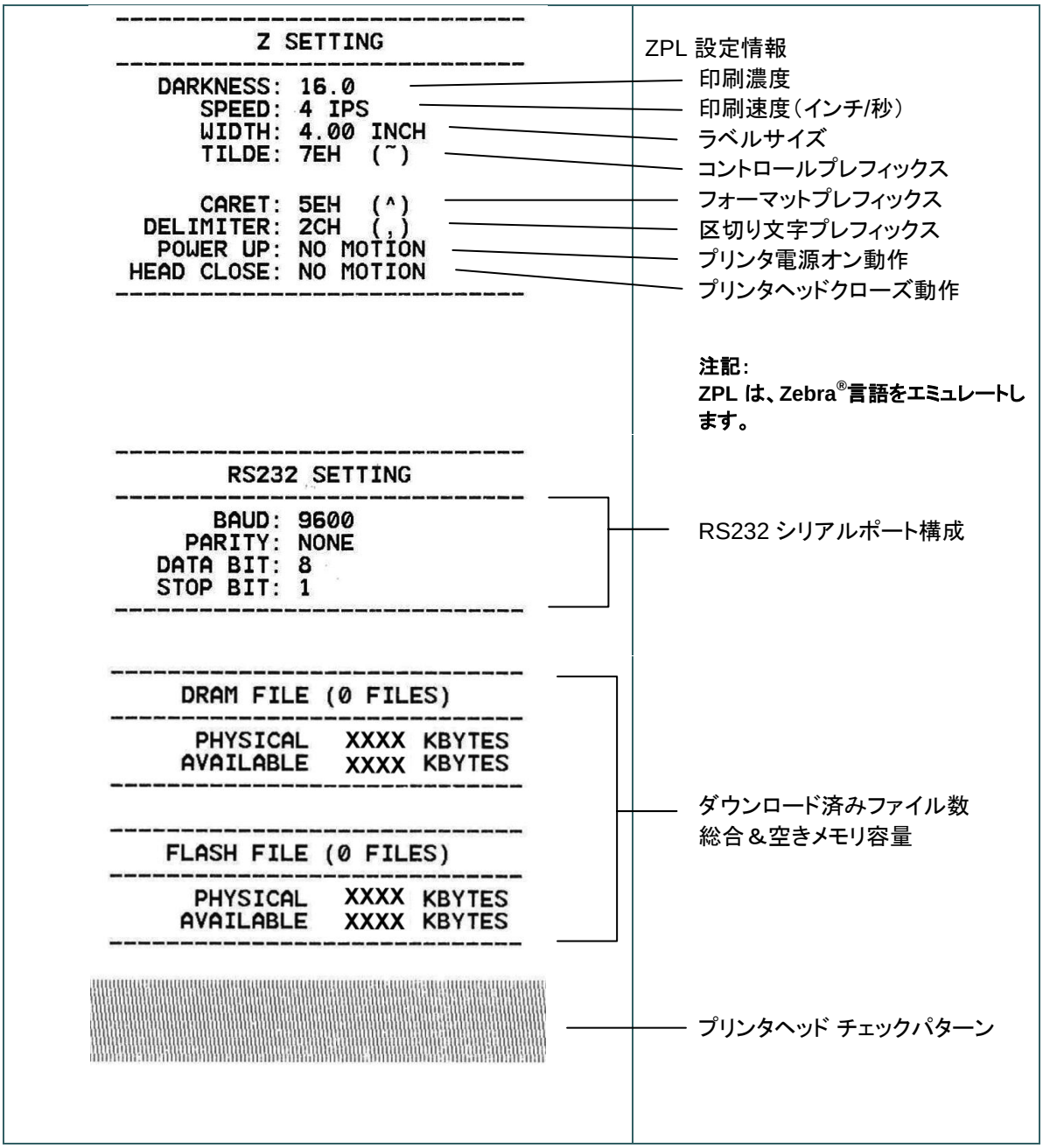
セルフテスト印刷

```
-----------------------------
     SYSTEM INFORMATION
-----------------------------
      MODEL: XXXXXX
   FIRMWARE: X.XX
   CHECKSUM: XXXXXXXX
        S/N: XXXXXXXXXXX
        TCF: NO
       DATE: 1970/01/01
       TIME: 00:04:18
  NON-RESET: 110      m (TPH)
      RESET: 110      m (TPH)
  NON-RESET: 0          (CUT)
      RESET: 0          (CUT)
-----------------------------


-----------------------------
      PRINTING SETTING
-----------------------------
      SPEED: 5 IPS
    DENSITY: 8.0
      WIDTH: 4.00 INCH
     HEIGHT: 4.00 INCH
        GAP: 0.00 INCH
  INTENSION: 5
   CODEPAGE: 850
    COUNTRY: 001
-----------------------------
```

モデル名
ファームウェアバージョン
ファームウェアチェックサム
プリンタシリアル番号
TSC 構成ファイル
システム日付
システム時刻
印刷されたマイレージ（メートル）
カット回数

印刷速度（インチ/秒）
印刷濃度
ラベルサイズ（インチ）
ギャップ距離（インチ）
ギャップ/ブラックマーク センサー強度
Code page（コードページ）
国コード

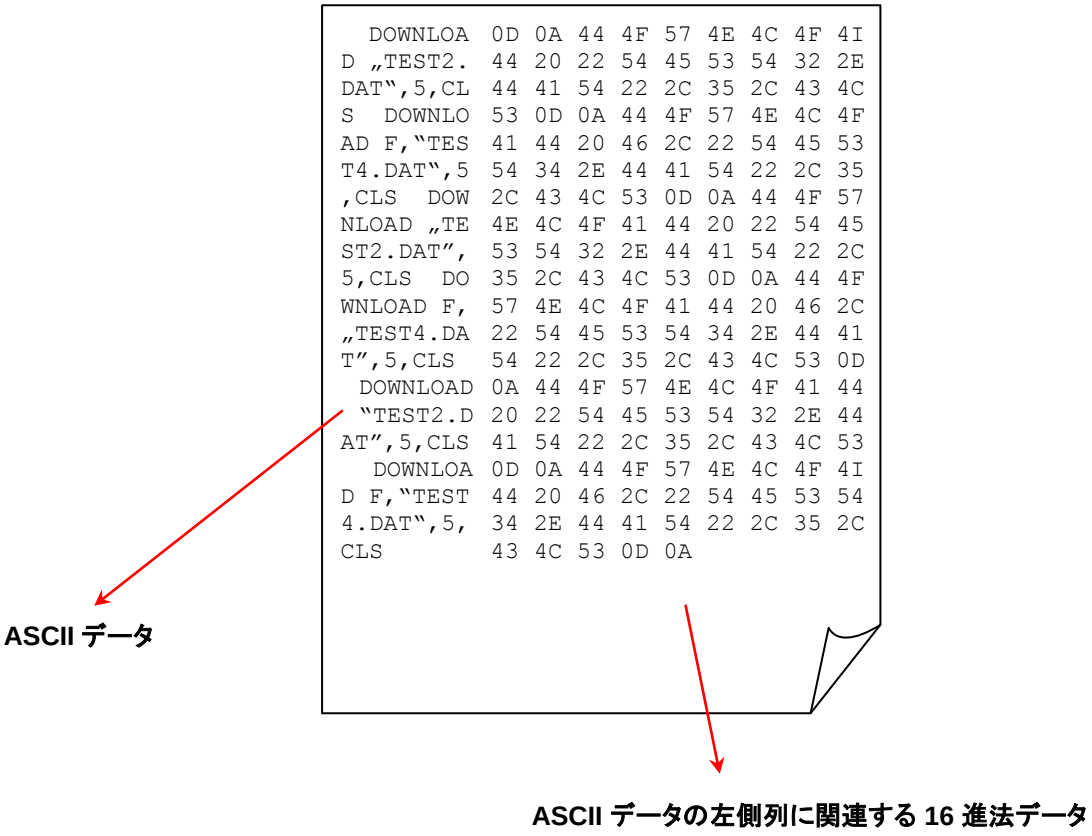


注記：

ドッド破損の確認は幅 4 インチの用紙幅を必要とします。

6.12.2 ダンプモード

通信ポートからデータを取り入れ、プリンタが受信したデータを印刷します。ダンプモードでは、すべての文字が 2 列に印刷されます。左側の文字はお客様のシステムから受け取られたもので、右側のデータは文字に対応する 16 進値です。これにより、ユーザーやエンジニアがプログラムの検証とデバッグを行うことができます。



注記:
ダンプモードには幅 4 インチの用紙幅が必要です。

6.12.3 プリンタヘッド

この機能は、プリンタヘッドの温度、抵抗、および、不良ドットを確認するために使用されます。

6.12.4 Display（表示）

この機能は、LCD のカラー状態を確認するために使用されます。

6.13 Advanced（詳細）

この機能を使用して、プリンタの LCD 設定を行います。

アイテム	説明
Display Brightness（ディスプレイ輝度）	こちらのアイテムは、ディスプレイの輝度の設定に使用されます。
Date & Time（日付＆時刻）	このアイテムは、ディスプレイの日付および時刻を設定するために使用されます。
Language（言語）	このアイテムは、ディスプレイの言語を設定するために使用されます。

6.14 Service（サービス）

この機能を使用してプリンタ設定を初期設定に戻し、プリンタマの情報を確認します。

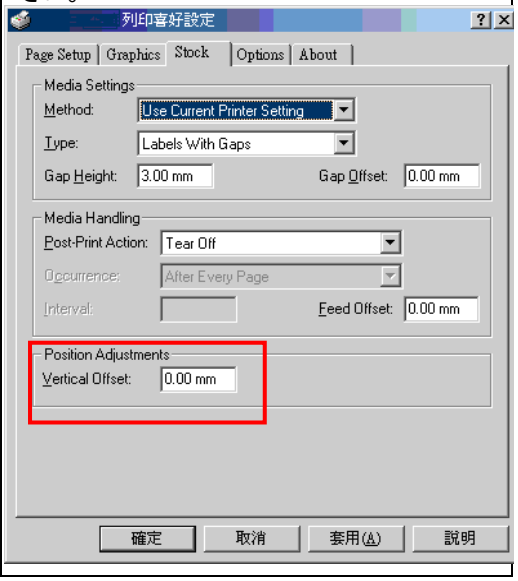
アイテム	説明
Initialization（初期化）	この機能は、プリンタ設定を初期設定に復元するために使用されます。
Printer Information（プリンタ情報）	この機能は、プリンタのシリアル番号、印刷されたマイレージ（m）、ラベル（個）および切断回数を確認するために使用されます。
Contact Us（連絡先）	この機能は、技術サポートサービスの連絡先情報を確認するために使用されます。

7. トラブルシューティング

次のガイドは、本バーコードプリンタの操作中に発生する可能性のある最も一般的な問題点をリストアップしています。推奨されるすべての解決策を実行してもプリンタが正常に機能しない場合は、購入した小売店または販売業者のテクニカルサポートサービスにお問い合わせください。

問題	考えられる原因	回復手順
電源インジケータが点灯しない	* 電源コードが正しく接続されていない場合があります。	* 電源コードをプリンタとコンセントに繋いでください。 * プリンタの電源を入れます。
- 診断ツールに、プリンタのステータスが「**ヘッドオープン**」と表示される。 - LCD に「**キャリッジオープン**」と表示される。	* プリンタヘッドが開いています。	* プリンタキャリッジを閉じてください。
- 診断ツールに、プリンタのステータスが**リボンエンコーダエラー**」と表示される。 - LCD に「**リボンなし**」と表示される。	* リボン切れです。 * リボンが正しく取り付けられていません。	* 新しいリボンロールを補充します。 * リボンロールを再補充するには、セクション 3.3 の手順を参照してください。
- 診断ツールに、プリンタのステータスが「**用紙切れ**」と表示される。 - LCD に「**用紙なし**」と表示される。	* ラベル切れです。 * ラベルが正しく取り付けられていません。 * ギャップ/ブラックマークセンサーが校正されていません。	* 新しいラベルロールを補充します。 * ラベルロールを再補充するには、セクション 3.4 の手順を参照してください。 * ギャップ/ブラックマークセンサーを校正してください。
- 診断ツールに、プリンタのステータスが「**紙詰まり**」と表示される。 - LCD に「**紙詰まり**」と表示される。	* ギャップ/ブラックマークセンサーが正しく設定されていません。 * ラベルサイズが正しく設定されているか確認してください。 * ラベルがプリンタ機構内に詰まっている可能性があります。	* メディアセンサーを校正してください。 * メディアサイズを正しく設定してください。 * プリンタ機構内に詰まったラベルを取り除いてください。
- LCD に「**ラベルを取る**」と表示される。	* ピールオフ機能が有効です。	* ピールオフモジュールが取り付けられている場合は、ラベルを取り除いてください。 * ピールオフモジュールがプリンタ正面に取り付けられていない場合は、プリンタの電源を切り、取り付けてください。 * コネクタが正しく接続されているか確認してください。
印刷できない	* インターフェイスケーブルがインターフェイスコネクタにしっかり接続されているか確認してください。 * ワイヤレスまたは Bluetooth デバイスがうまくホストとプリンタの間に接続されているか確認してください。	* ケーブルをインターフェイスに再接続するか、新しいケーブルに交換してください。 * シリアルケーブルを使用している場合は、 ーケーブルをピンツーピン接続と交換してください。 ーボーレート設定を確認してください。プリンタのデフォルトのボーレート設定は 9600、n、8.1 です。

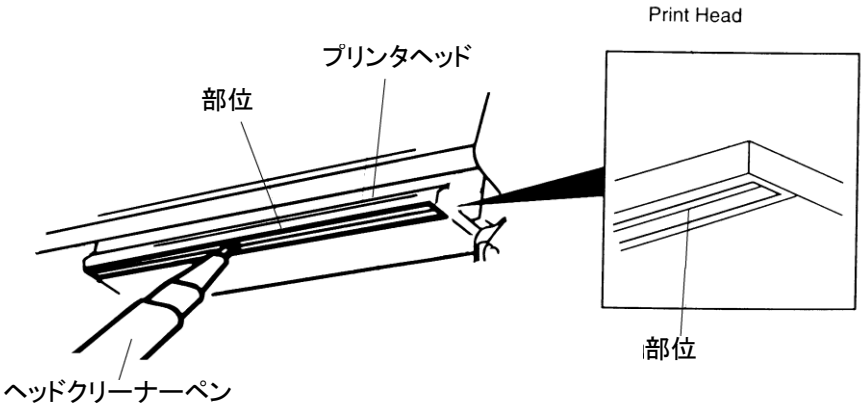
	* Windowsドライバで指定されたポートが正しくありません。	* イーサネットケーブルを使用している場合は、 - イーサネット RJ-45 コネクタの緑の LED が点灯しているかを確認します。 - イーサネット RJ-45 コネクタのオレンジ色の LED が点滅しているかを確認します。 - DHCP モードを使用している際にプリンタが IP アドレスを取得しているかどうかを確認します。 - スタティック IP アドレスを使用している際に IP アドレスが正しく取得されているかを確認します。 - プリンタがサーバと通信する間数秒間待ち、その後 IP アドレス設定を再度確認してください。 * ワイヤレスデバイスの設定をリセットしてください。 * ドライバの正しいプリンタポートを選択してください。 * プリンタヘッドのハーネスコネクタがプリンタヘッドと正確に接続されていません。プリンタの電源を切り、コネクタを接続し直します。 * プログラム上で、PRINT（印刷）のコマンドがファイルの終わりにあるか、また各コマンドラインの終わりに CRLF があることを確認します。
ラベルに印刷されない	* ラベルまたはリボンが正しくセットされていません。 * 違ったタイプの紙またはリボンが使用されています	* メディアおよびリボン取り付けの指示に従ってください。 * リボンとメディアが互換していません。 * リボンのインク塗装面を確認します。 * 印刷濃度設定が不適切です。 * プリンタヘッドの汚れを取ります。
印刷の質が悪い	* リボンとメディアの取り付けが不適切です。 * プリンタヘッドに汚れや粘着物が付着しています。 * 印刷濃度が正しく設定されていません。 * プリンタヘッドエレメントが破損しています。 * リボンとメディアが互換していません。 * プリンタヘッド圧力が正しく設定されていません。	* 電源装置をリロードします。 * プリンタヘッドの汚れを取ります。 * プラテンローラーの汚れを取ります。 * 印刷濃度と印刷速度を調整します。 * プリンタのセルフテストを実行し、パターンにドットの欠落がないかプリンタヘッドのテストパターンを点検します。 * 適切なリボンおよびラベルメディアに交換します。 * リリースレバーがプリンタヘッドに正しく嵌まっていません。
カッターが動作しない	* コネクタが緩んでいます。 * カッタージャムです。 * カッターPCB が破損しています。	* 接続ケーブルを正しく接続してください。 * ラベルを取り除きます。 * ラベル厚が 0.19 mm 以下か確認してください。 * カッタードライバ IC ボードを交換します。
メモリ（FLASH/DRAM/カード）にファイルをダウンロードすることができません	* メモリの容量が一杯です。	* メモリ内の未使用ファイルを削除してください。

SD カードが使用できない	* SD カードが破損しています。 * SD カードが正しく挿入されていません。	* サポートされている容量の SD カードを使用します。セクション 2.2.1 を参照してください * SD カードを挿入し直します。
ラベルの左側あるいは右側に、印刷されていない部分がある	* ラベルサイズの設定が正しくありません。	* 正しいラベルサイズを設定します。
空白ラベルにグレーのラインが印刷される	* プリンタヘッドが汚れています。 * プラテンローラーが汚れています。	* プリンタヘッドの汚れを取ります。 * プラテンローラーの汚れを取ります。
印刷が不規則である	* プリンタが 16 進ダンプモードになっています。 * RS-232 設定が不適切です。	* ダンプモードをスキップするには、プリンタをオフにし、再度オンにします。 * RS-232 設定をリセット。
印刷の際に、ラベルフィードが安定していない（曲がる）	* メディアガイドがメディアの端に接していません。	* ラベルが右側に動く場合は、ラベルガイドを左に移動してください。 * ラベルが左側に動く場合は、ラベルガイドを右に移動してください。
印刷中にラベルがスキップされる	* ラベルサイズが正しく指定されていません。 * センサー感動が正しく設定されていません。 * メディアセンサーに埃が溜まっています。	* ラベルサイズが正しく設定されているか確認してください。 * 自動ギャップあるいは手動ギャップオプションによりセンサーを校正してください。 * ギャップ/ブラックマークセンサーをブロワーで清掃してください。
皺がよる	* プリンタヘッド圧力が正しくありません。 * リボンの取り付けが正しくありません。 * メディアの取り付けが正しくありません。 * 印刷濃度設定が不適切です。 * メディアのフィードが正しくありません。	* 適切な濃度を設定して印刷画質を向上させてください。 * ラベルガイドがメディアガイドの端に接するようにしてください。
印刷を再起動する際の RTC タイムが正しくありません。	* バッテリーが残り僅かになっています。	* メインボードにバッテリー残量があるか確認します。
小さいラベルの印刷位置が適切ではない	* メディアセンサー感動が正しく設定されていません。 * ラベルサイズが正しくありません。 * パラメータシフト Y が正しくありません。 * ドライバの垂直オフセット設定が正しくありません。	* センサー感度を再度校正します。 * 正しいラベルサイズとギャップサイズを設定します。 * 診断ツールを使って、シフト Y のパラメータを微調整します。 * BarTender ソフトウェアを使用している場合、ドライバの垂直オフセットを設定してください。 

8. メンテナンス

プリンタを保守するための清浄ツールおよび方法を示します。

1. プリンタをクリーニングするには次のいずれかの材料を使用してください。
   - 綿棒
   - 柔らかい布
   - 真空/ブロワーブラシ
   - 100%エタノールまたはイソプロピルアルコール
2. 清浄は次のプロセスで行ってください

プリンタ部品	方法	間隔
プリンタヘッド	1. プリンタヘッドを清浄する前に必ずプリンタの電源を切ってください。 2. 少なくとも1分間、プリンタヘッドが冷却されるのを待ちます。 3. 綿棒と 100%エタノールまたはイソプロピルアルコールを使ってプリンタヘッドの表面を拭きます。	新しいラベルロールを使う時はプリンタヘッドを拭いてください。
		
プラテンローラー	1. プリンタの電源を切ります。 2. プラテンローラーを回転させて、水で十分に拭いてください。	新しいラベルロールを使う時はプラテンローラーを拭いてください。
ピールバー	柔らかい布と 100%エタノールを使って拭き取ります。	必要に応じて
センサー	圧縮空気または真空	毎月
外面	水で湿らせた布で拭きます	必要に応じて
内面	ブラシまたは掃除機	必要に応じて

注記:

- プリンタヘッドに手を触れないでください。うっかりヘッドに触れてしまった場合は、エタノールを使って汚れを取り除きます。
- 100%エタノールまたはイソプロピルアルコールを使ってください。医療用アルコールを使わないでください。プリンタヘッドが破損する可能性があります。

- 新しいメディアを交換したら、プリンタの性能を維持しプリンタの寿命を延ばすために、プリンタヘッドと電源センサーを定期的にクリーニングしてください。
- 連続印刷により、プリンタモーターが過熱します。モーターが冷却されるまで、プリンタは自動的に約 10 ～ 15 分間停止します。プリンタが一時停止中は電源を切らないよう j にしてください。プリンタバッファに転送されたデータが失われます。
- このプリンタのドットラインあたりの最大印刷比は 15%です。完全なウェブ黒線を印刷するために、黒線の最大高は 40 ドット、すなわち 203DPI 解像度プリンタで 5 mm、300DPI 解像度プリンタで 3.3mm に制限されます。そうしないと、電源装置が損傷する恐れがあります。

改訂履歴

日付	内容	編集者
2015/10/21	セクション 2.2.1 を改変（SD カード仕様を推奨）	カミーユ

TSC Auto ID Technology Co., Ltd.

本社
9F., No.95, Minquan Rd., Xindian Dist.,
New Taipei City 23141, Taiwan (R.O.C.)
電話：+886-2-2218-6789
ファックス：+886-2-2218-5678
ホームページ：www.tscprinters.com
電子メール：apac_sales@tscprinters.com
tech_support@tscprinters.com

Li Ze 施設
No.35, Sec. 2, Ligong 1st Rd., Wujie Township,
Yilan County 26841, Taiwan (R.O.C.)
電話： +886-3-990-6677
ファックス： +886-3-990-5577